

2019年9月期(第19期) 決算および会社説明資料

2019年11月15日 証券コード：3939

株式会社 カナミックネットワーク

- 1 会社概要
- 2 事業概要とビジネスモデル
- 3 業界動向
- 4 当社の強み
- 5 業績と成長戦略
- 6 事業TOPICS

1.会社概要



1-1. 会社概要

商号

株式会社 カナミックネットワーク

設立

2000年（平成12年）10月20日

資本金

3億2,412万円（内資本準備金1億3,206万円）

上場取引所

東証一部市場（証券コード：3939）

所在地



グループ全体従業員数：73名

主な事業

医療・介護・子育て分野におけるクラウドサービス提供事業
医療・介護・子育て分野におけるコンテンツ広告事業

人生を抱きしめるクラウド

子育てにはじまり、介護まで。
人の幸せを支える、クラウド技術があります。

【社名の由来】

カナミックネットワークの社名は、「介護を生き生きと活性化させるネットワークサービスを提供する」という理念から「介護（カイゴ）」と「活性化（ダイナミック）」そして「ICT（ネットワーク）」の3つのキーワードを掛け合わせて誕生しました。

【経営理念】

当社は「超高齢社会における地域包括ケアをクラウドで支える」という経営理念の基、医療・介護・健康情報等を法人・職種の枠を超えてリアルタイムに「情報共有」+「コミュニケーション」+「利活用」ができるICTプラットフォームを提供することで、患者・家族がより質の高い医療・介護サービスを受けられることを目指して事業を展開しております。

2.事業概要とビジネスモデル



KANAMIC NETWORK

2-1. 私たちの目指すところ

- 医薬品
- 医療機器
- 口腔ケア
- 福祉用具
- 建材
- 食品
- 衛生用品
- ロボット
- レク用品

コンテンツ広告配信

行政・医療・介護

医療介護連携



介護離職ゼロ

CCRC

地方創生による
地域活性化

行政・保育・健診

子育て支援



子育て支援

負担軽減
社会参加促進

若者が働きやすい
まちづくり



医療・介護・子育ての「多世代包括ケア」

2-2. 医療介護クラウドサービス

2階層

情報共有システムは、地域全体に面で導入

※他にも多数の機能がございます

【有料対象顧客】

- ・自治体
- ・地域包括支援センター
- ・医師会
- ・中核病院
- ・在宅医



【有料対象顧客】

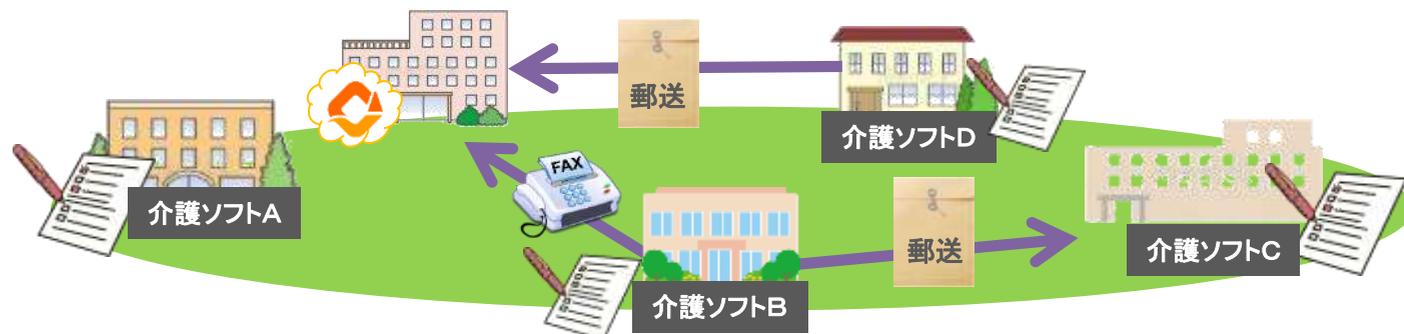
- ・地域包括支援センター
- ・ケアマネジャー
- ・介護サービス事業者

1階層

介護業務システムは、法人・事業所ごとに導入

STEP.1

情報共有SYSがない状態。
バラバラの介護業務システム
導入はあり、情報共有は郵
送・FAXを利用。



STEP.2

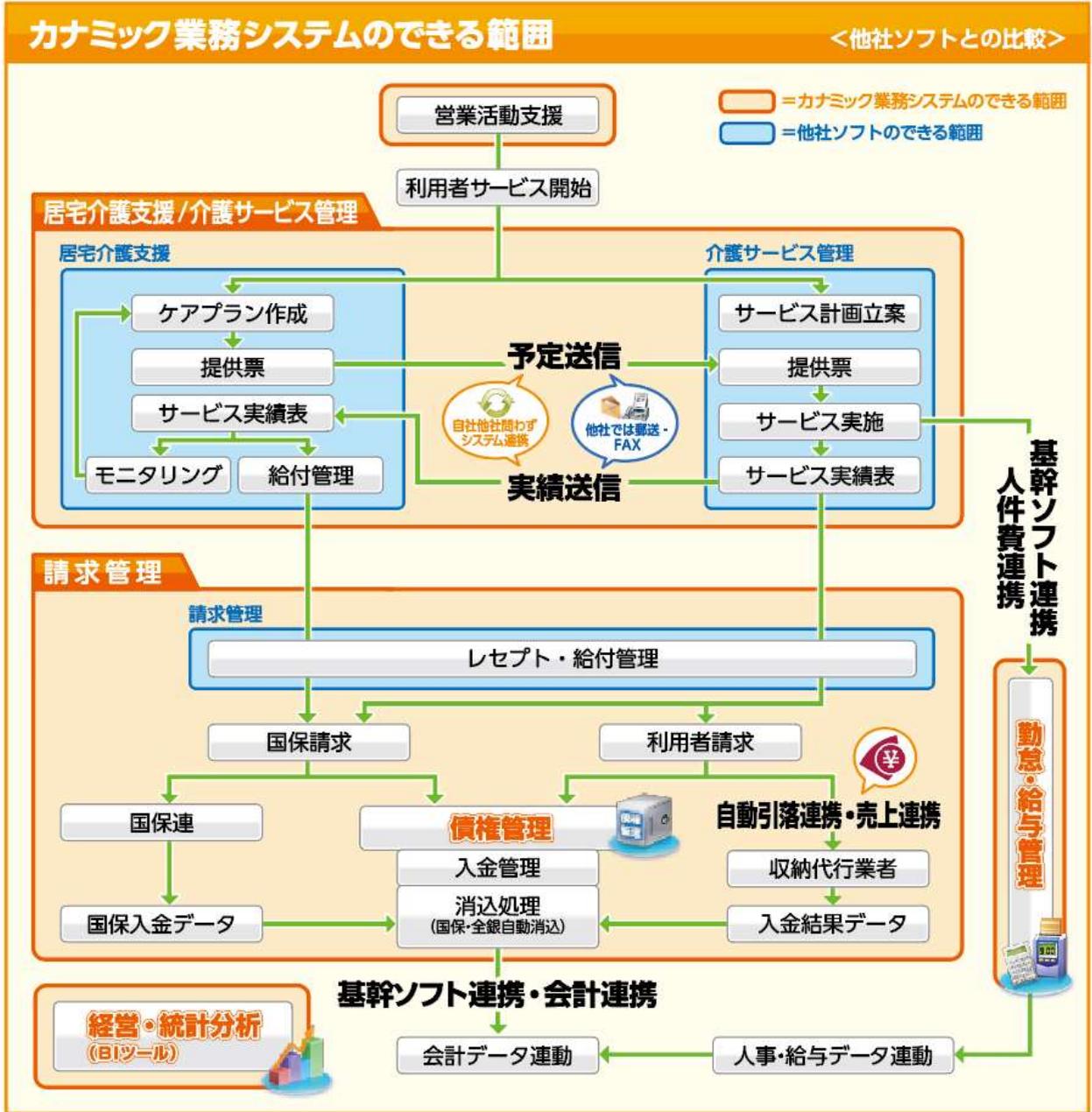
地域全体の情報共有に
カナミック(2階)が導入され、
情報共有が円滑になるが
現場は紙運用が残る。



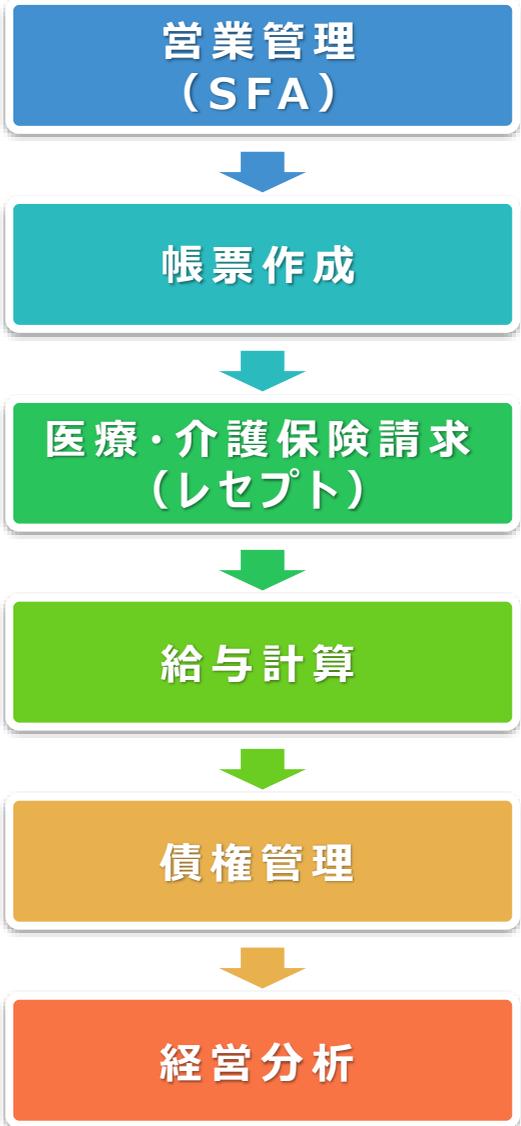
STEP.3

介護業務システム(1階)を
カナミッククラウドにすると、介
護の現場の事務業務が効
率化されてペーパーレス化が
進む。





介護事業経営を支える
クラウドERP



2-5. 医療介護クラウドサービス: 情報共有システム

システム画面 <TOP画面>

患者ごとに
部屋を作成

- 自治体
- 医師会
- 中核病院
- 在宅医

2階層: 管理者

管理者より招待された患者の担当関係者のみ部屋に入れる

The screenshot shows the TRITRUS system interface. At the top, there's a header with the TRITRUS logo and a user profile for 'ケアマネ 花子さん'. Below the header, there are navigation tabs for 'マイページ', '介護力ナさんの部屋', and '介護力ナさんの部屋'. The main content area is divided into several sections:

- 介護力ナさんの部屋 (Care Manager's Room):** Contains a profile picture of an elderly woman, a '本人家族招待' (Invite family) button, and a list of participants including 'ケアマネ 花子'.
- Monitoring Graph:** A line graph showing vital signs (血圧, 脈拍, SpO2) over time from 12/15 to 12/23. The graph has multiple data series for different metrics.
- Navigation Menu:** A row of icons for 'フェイスシート' (Face sheet), 'サービスカレンダー' (Service calendar), 'お薬手帳' (Medication diary), 'アセスメント' (Assessment), '訪問看護チェックシート' (Home nursing check sheet), 'データフォルダ' (Data folder), and 'タイムライン' (Timeline).
- Care Report Table:** A table with columns for 'トピック' (Topic), '書込数(未読数)' (Number of entries (unread)), and '最終更新日' (Last updated). It lists items like '利用者情報共有板' and '重要! 肺炎アレルギーについて'.

患者状態の変化がわかる
患者部屋
トップ画面の
タブ表示

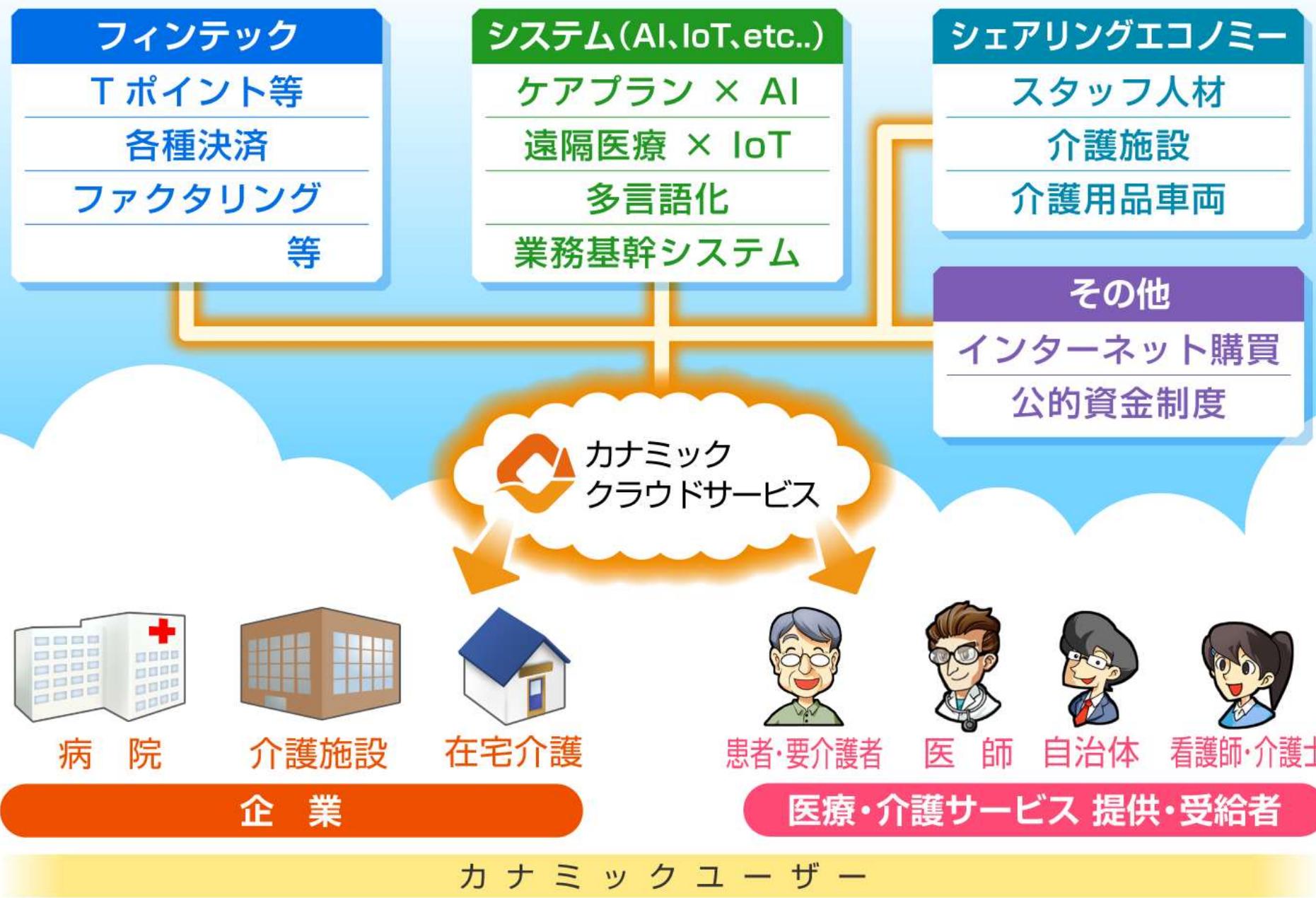
患者ごとの
定型化された
連携情報

- フェイスシート (連携基本情報)
- カレンダー (関係者予定)
- お薬手帳 (薬剤情報共有)

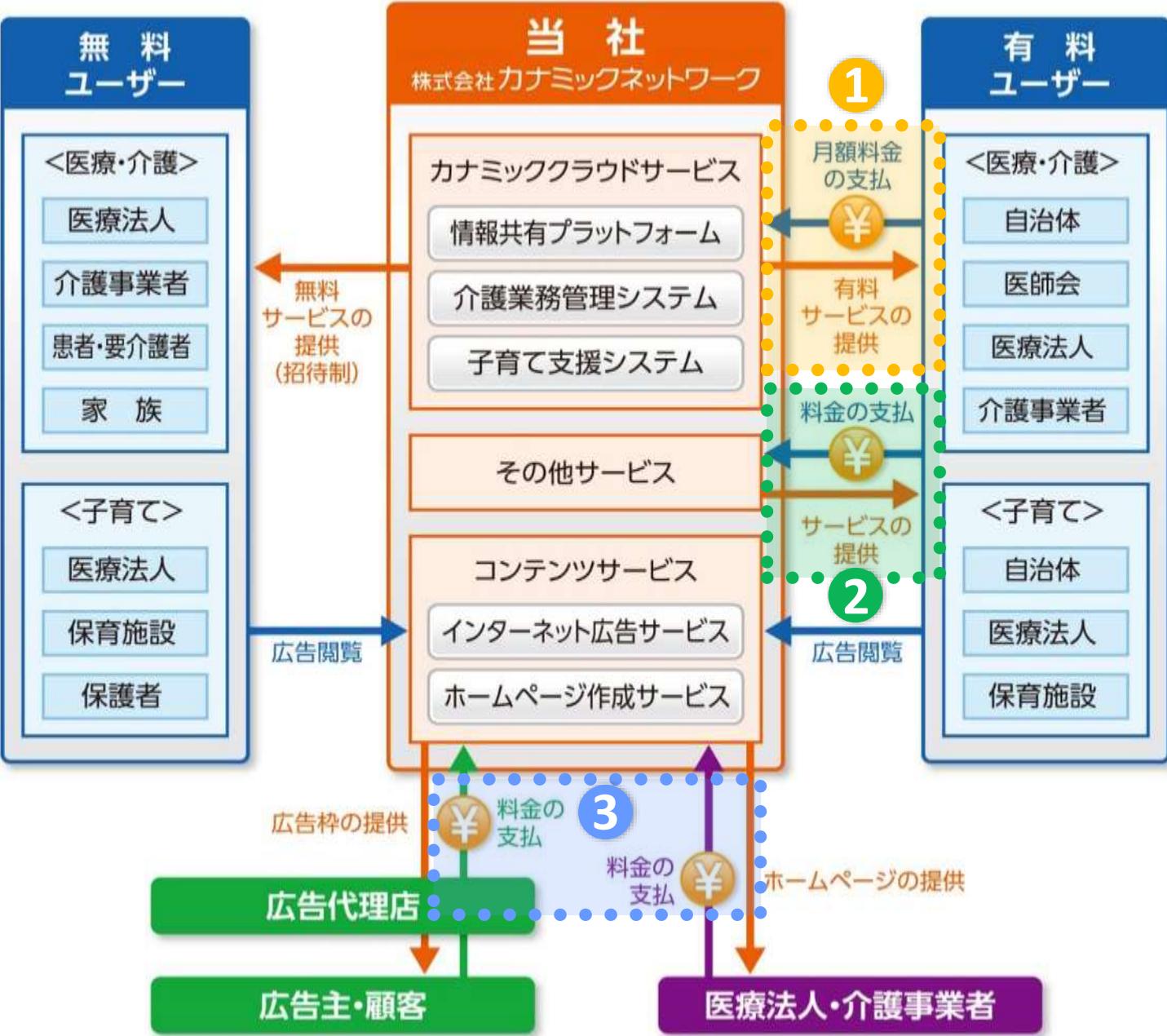
日々の変化を共有するケアレポート

- 患者情報シート
- 連絡帳
- ケアプラン
- バイタル情報
- 食事・水分、排泄
- 訪問看護指示書
- 診療情報提供書等

2-6.プラットフォーム化による収益拡大



2-7. 医療介護クラウドサービス事業系統図

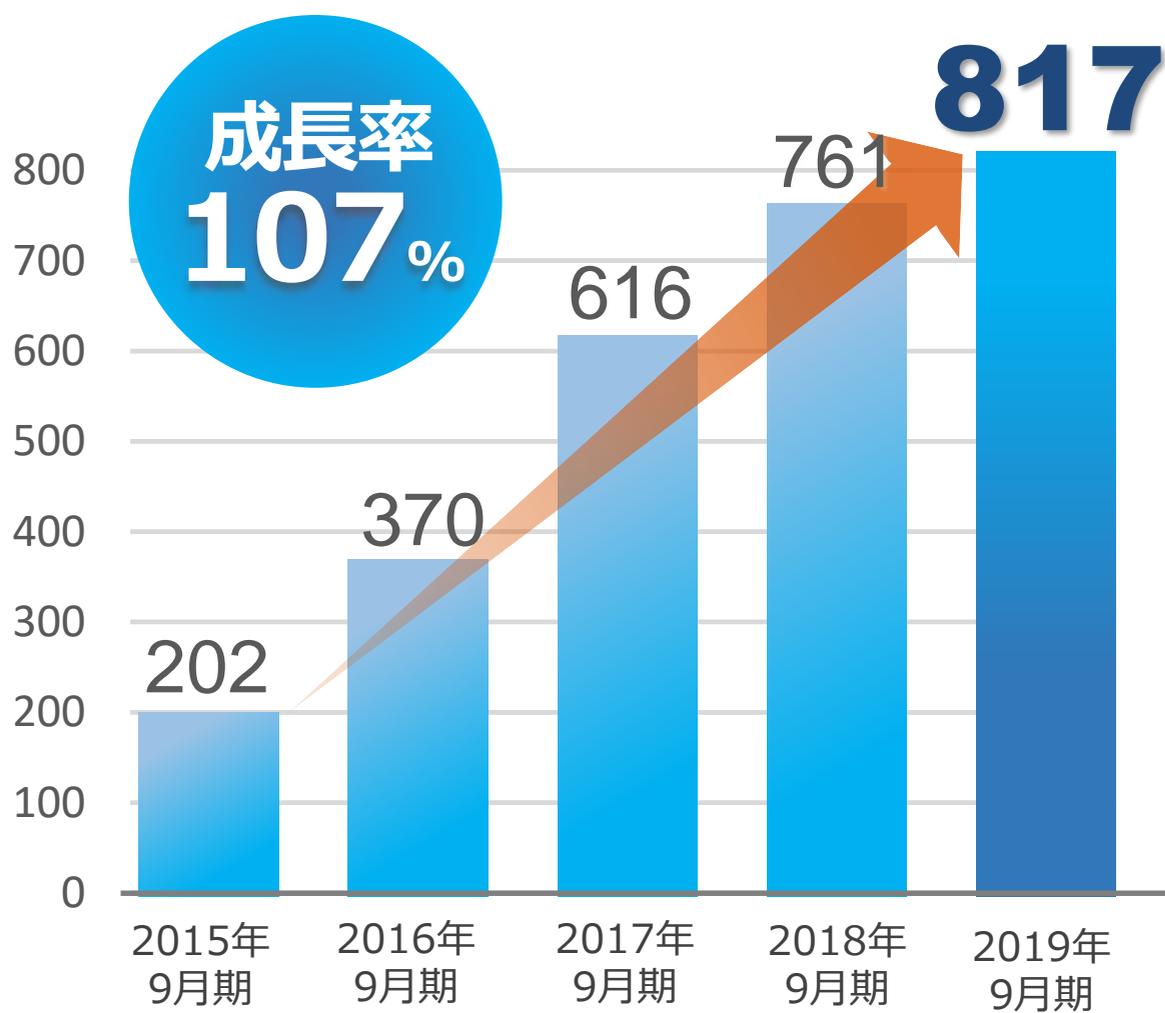


単一セグメントですが各サービス毎の売上高を開示しております。

2019年9月期

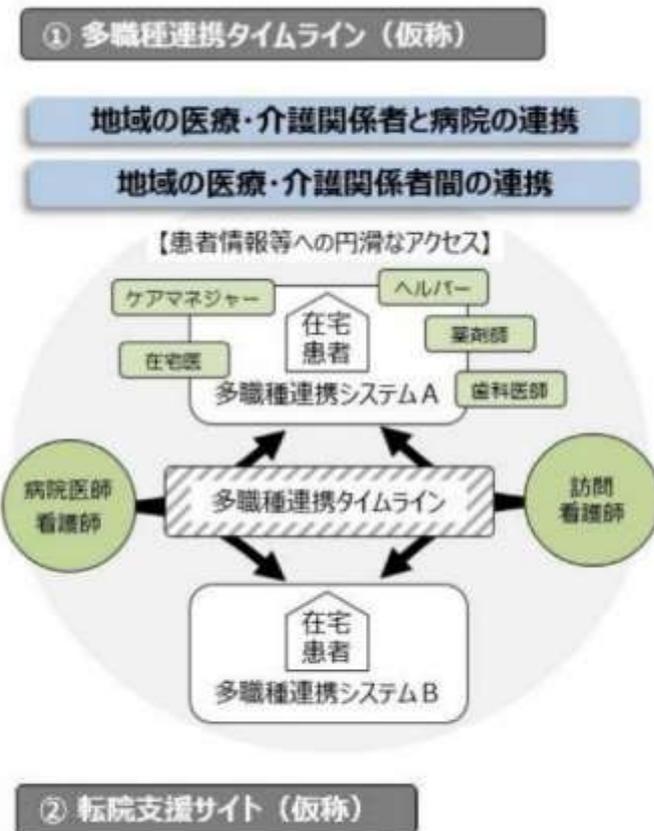
- ① カナミッククラウドサービス**
 売上高：1,508百万円
 (売上構成比：89.5%)
 (前年同期比：116.1%)
- ② その他サービス**
 売上高：90百万円
 (売上構成比：5.4%)
 (前年同期比：65.8%)
- ③ コンテンツサービス**
 売上高：86百万円
 (売上構成比：5.1%)
 (前年同期比：129.5%)

2-8.クラウドサービス 導入地域数推移



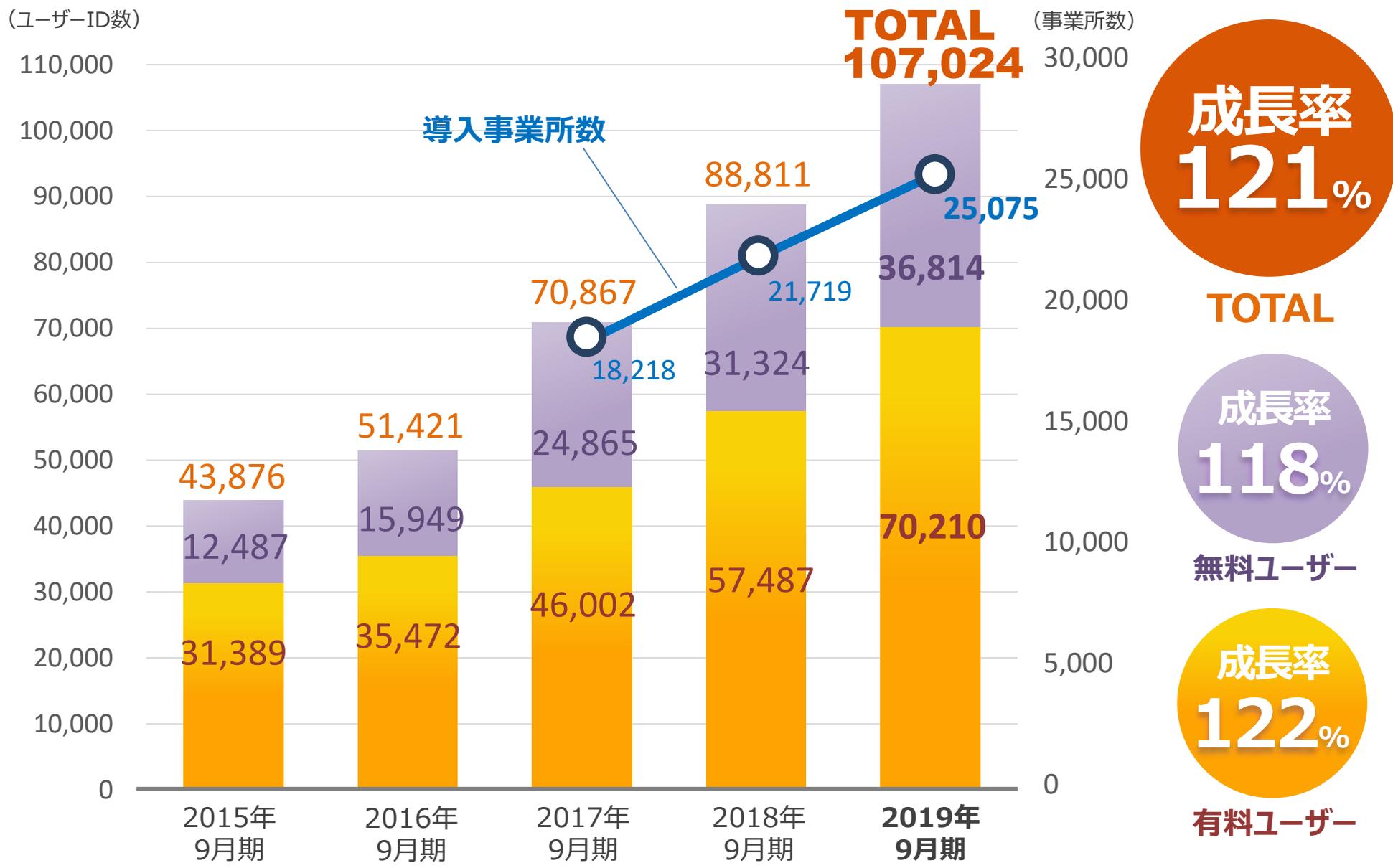
※地域数の単位は、厚生労働省が想定する地域包括ケアの人口3万人程度の「中学校区」

東京都全域 ポータルサイトを受注



※2019年10月受注のため、左記地域数には反映しておりません。

2-9.クラウドサービス ユーザーID数と導入事業所数推移



2-10.子育て支援システム

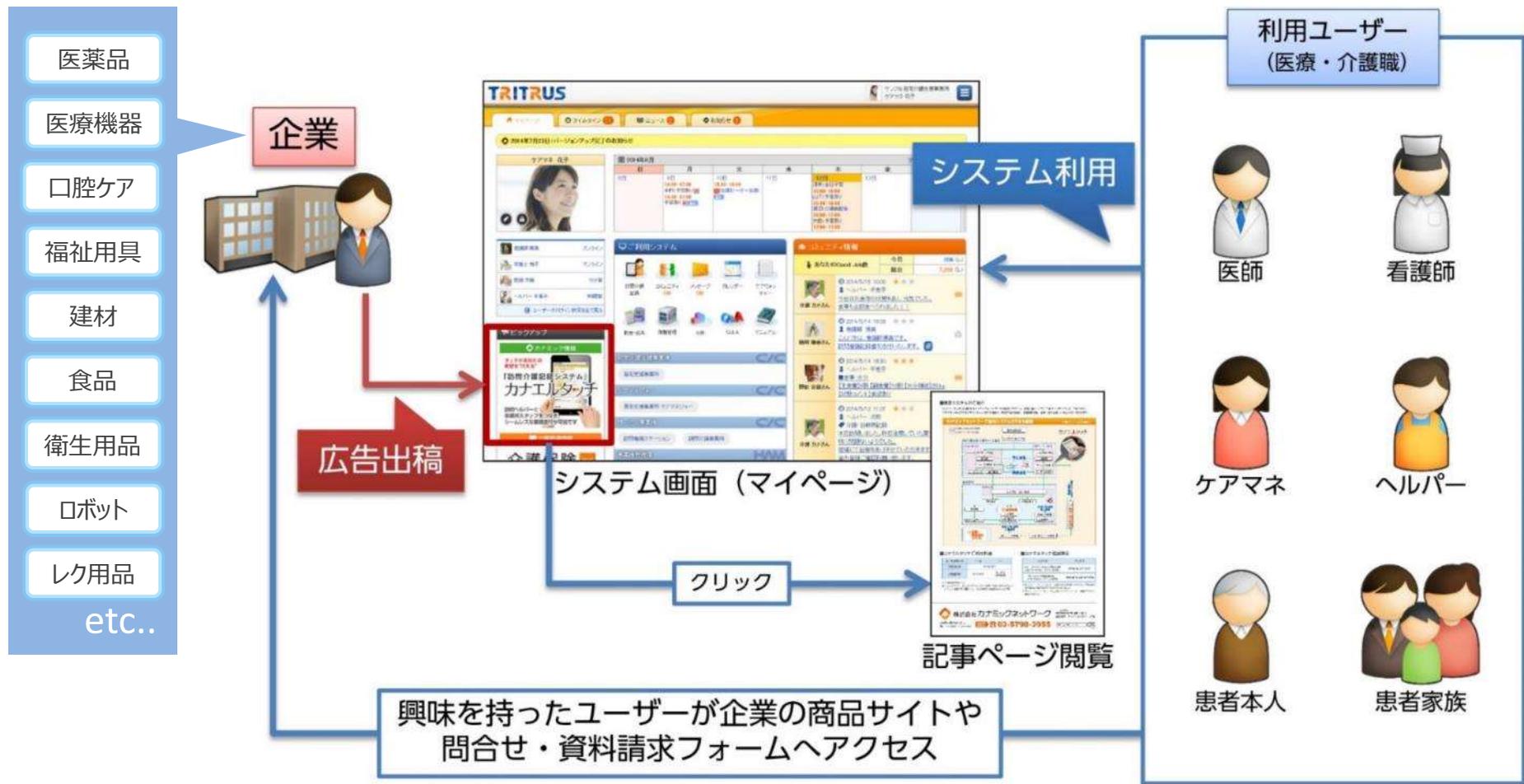
地方創生事業等にて活用

- ・ 自治体と母親父親を繋ぐ、ニュース配信・イベント配信機能
- ・ 電子母子手帳機能を拡張した、子供のブログ機能
- ・ ママ友ネットワークのSNS機能など



2-11.コンテンツサービス

医療・介護の専門職向けに特化したインターネット広告配信サービス



インターネット広告

- インプレッション広告
- 記事広告
- 動画広告

ユーザー会参加

- 定期開催されているユーザー会への参加権利付与

Webアンケート

- 商品マーケティング
- 市場調査

サンプル試供品配布

- ユーザー経由で要介護者にサンプル試供品の提供

3.業界動向

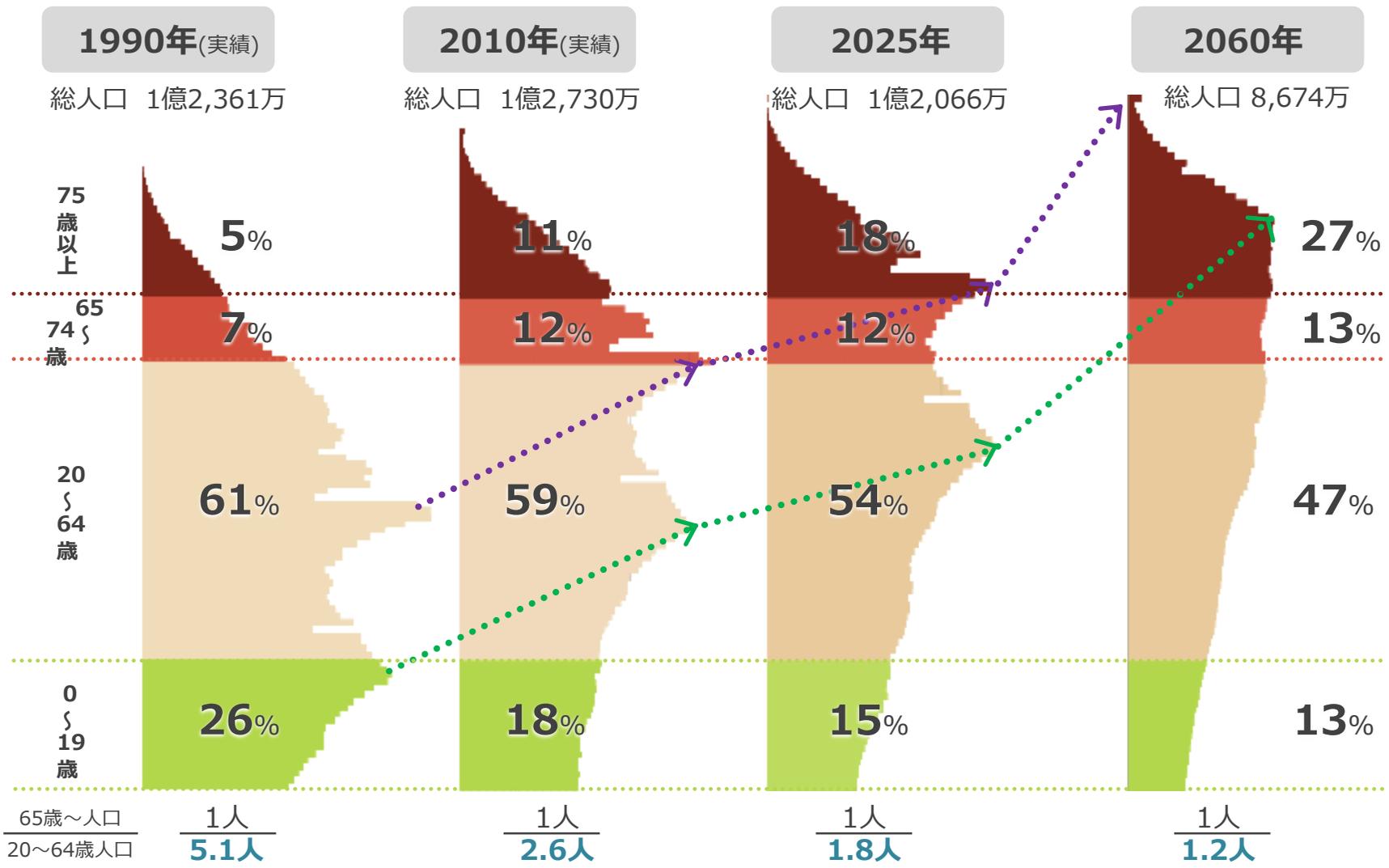


KANAMIC NETWORK

3-1. 医療・介護業界の市場規模

日本の人口ピラミッドの変化

日本の人口構造の変化を見ると、現在1人の高齢者を2.6人で支えている社会構造になっており、少子高齢化が一層進行する2060年には1人の高齢者を1.2人で支える社会構造になると想定



出典：総務省「国勢調査」及び「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）：出生中位・死亡中位推計」（各年10月1日現在人口）

3-2. 医療・介護業界の市場規模

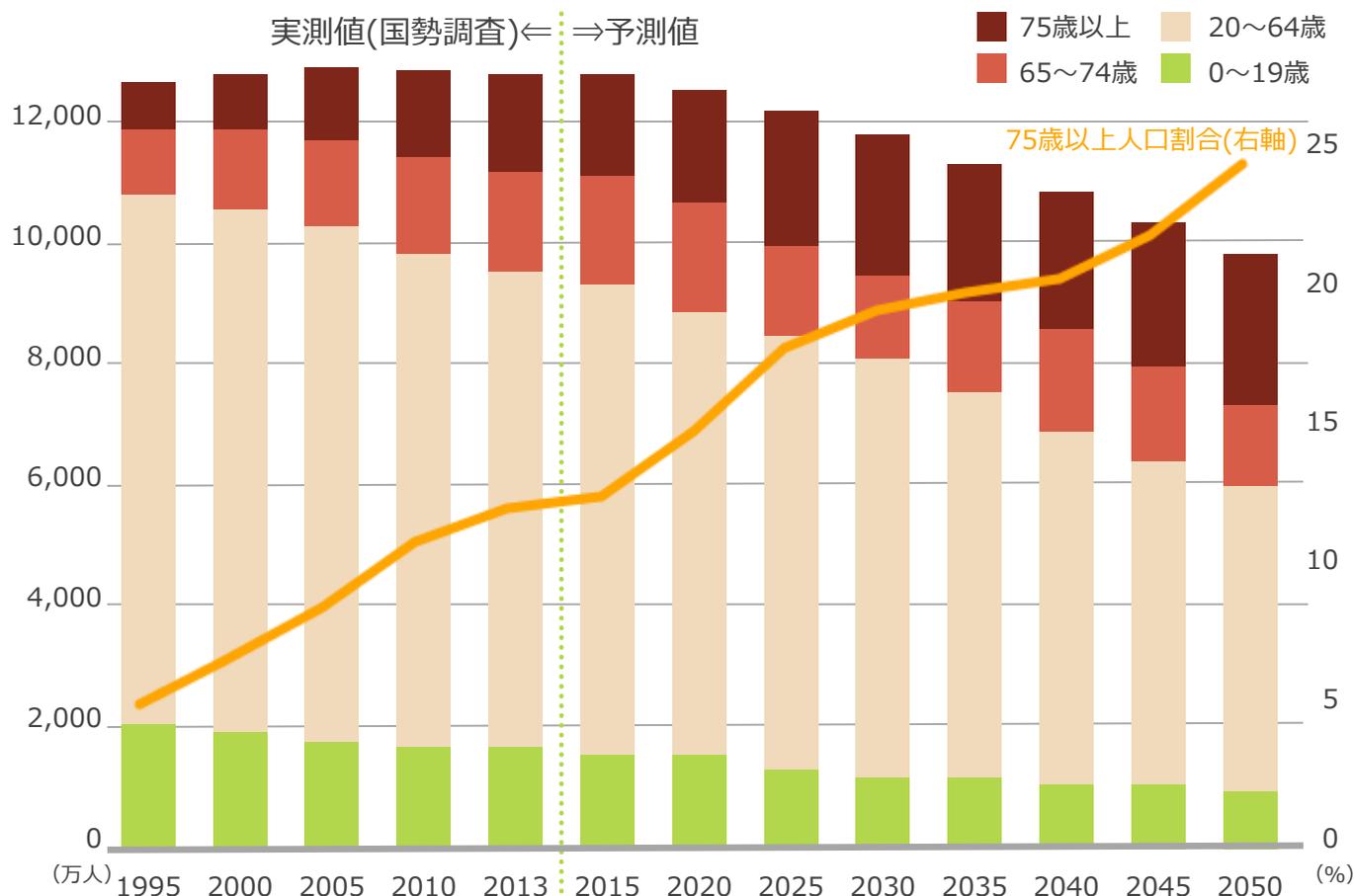
75歳以上になると要介護の認定を受ける人の割合が大きく上昇する。今後、日本の総人口が減少に転じていくなか、高齢者（特に75歳以上の高齢者）の占める割合は増加していくことが想定されている。2025年に団塊の世代が75歳となり、社会保障給付費は2012年度の109.5兆円(GDP比22.8%)から2025年度の148.9兆円(GDP比24.4%)へ増加、さらに、医療介護分の社会保障給付費の将来推計は2012年の43.5兆円から2025年には73.8兆円までに膨らむ見通しとなっている。

要介護等認定の状況

65～74歳	
要支援	要介護
231 (1.4%)	491 (3.0%)
75歳以上	
要支援	要介護
1,357 (8.8%)	3,611 (23.3%)

出典：内閣府 単位：千人

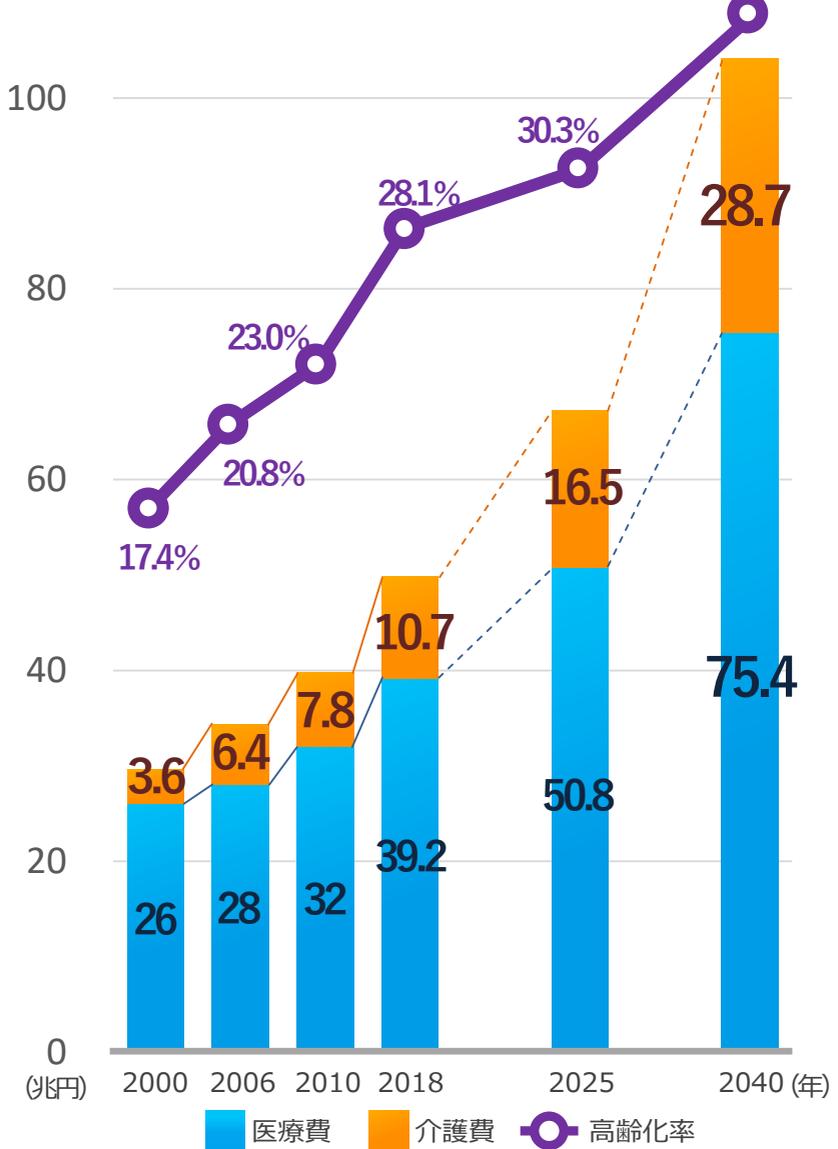
今後の年齢階級別人口の推計



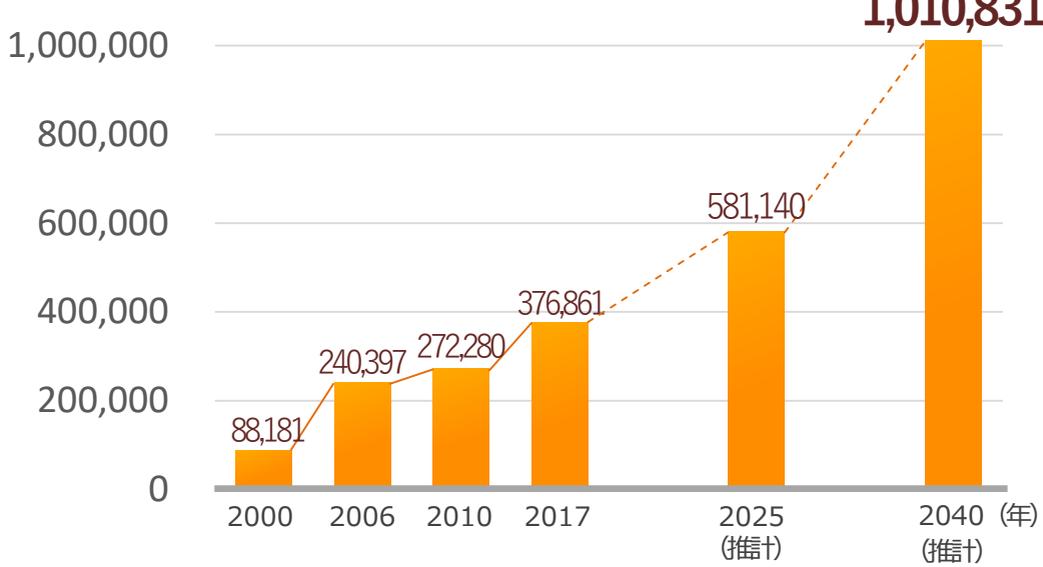
出典：2010年までは総務省、2013年は総務省統計局、2015年以降は国立社会保障・人口問題研究所

3-3. 医療・介護業界の市場規模

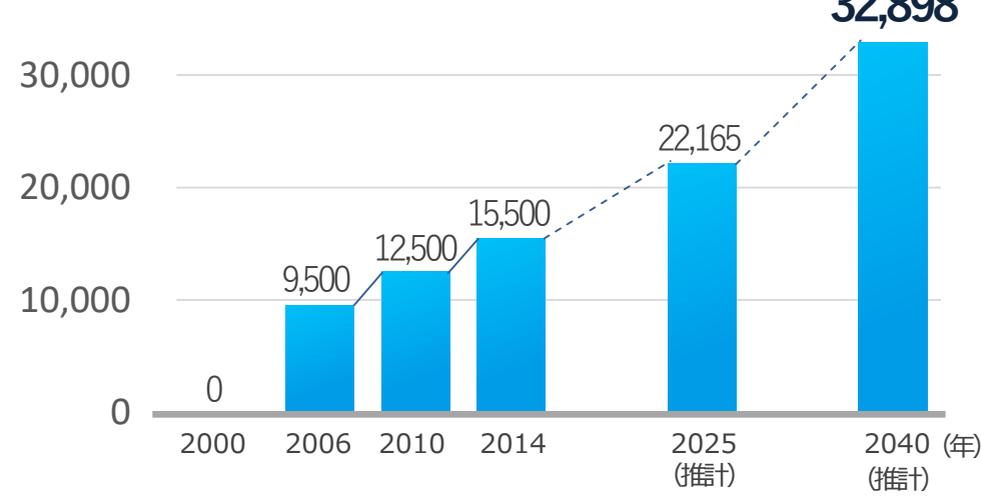
■ 社会保障費の推移と高齢化率



■ 介護事業所数の推移



■ 在宅医療を行う医療機関の推移



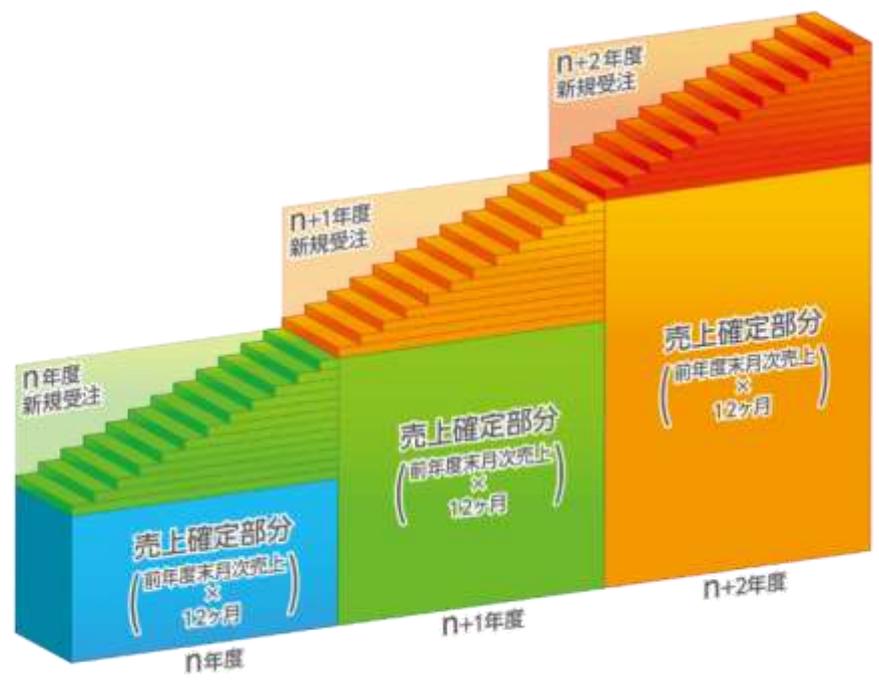
出典：厚生労働省、財務省、内閣府、総務省資料よりデータ抜粋してグラフ作成。事業所数の2025年、2040年数値は社会保障費から推計。社会保障費の2025年、2040年数値は「2040年を見据えた社会保障の将来見通し（議論の素材）」の成長実現ケース、計画ベース（医療は②）。

4. 当社の強み

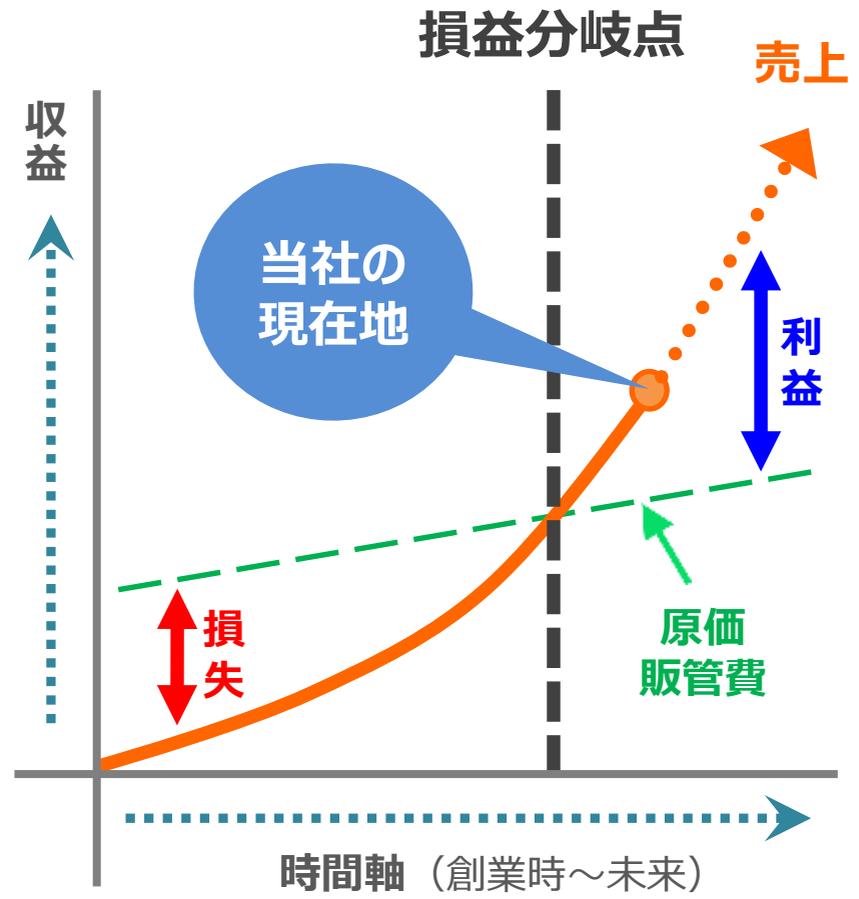
4-1.ストックビジネスの収益構造

現在、クラウドサービスの販売を主軸としておりますので、ストックビジネスであり、在庫等が無く高い収益性を実現しています。

■ストックビジネス



■当社のステージ



4-2. 東京大学と共同研究「柏モデル」(都市型モデル)

弊社の医療介護連携のクラウドは、東京大学高齢社会総合研究機構との共同研究により開発され、地域包括ケアの柏モデルの中で作り上げられてきました。



研究会が目指すまちの姿について

地域包括ケアシステムを実現させるために・・・

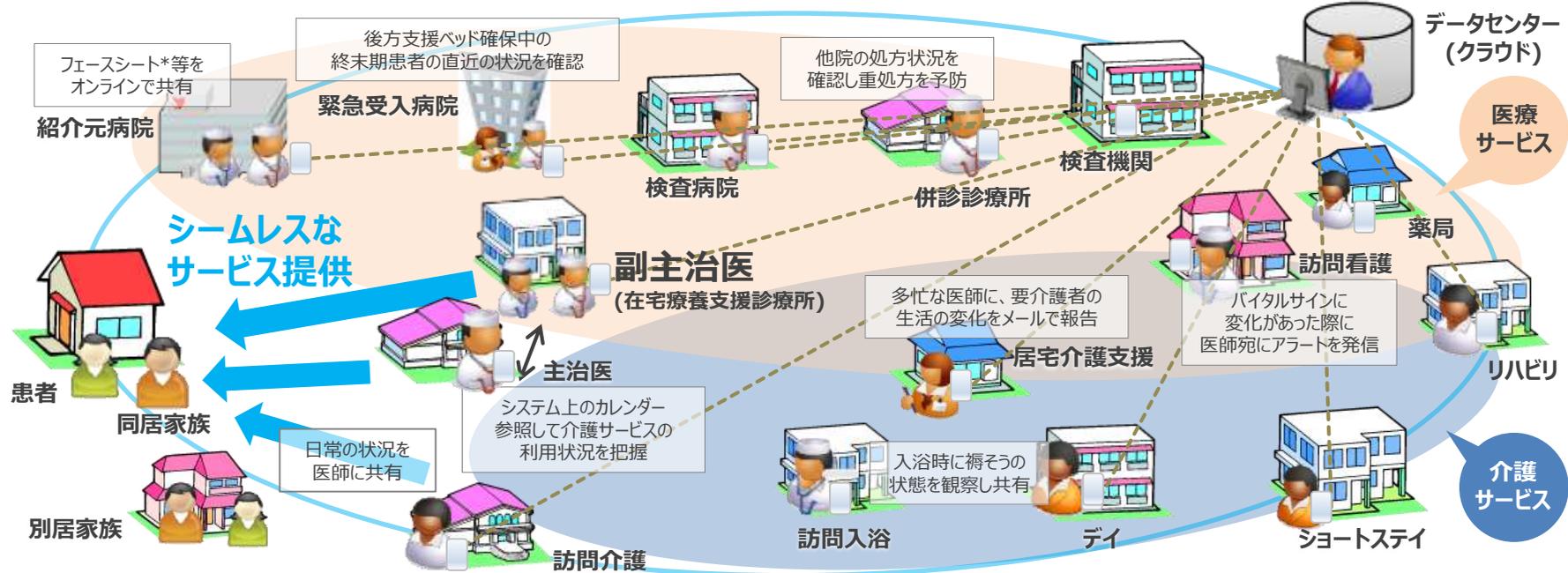
- ① 在宅医療を推進するシステムの構築
- ② 訪問看護の充実(24時間訪問看護の体制整備)
- ③ 介護サービスの充実(24時間短時間・巡回型介護の体制整備)
- ④ サービス付き高齢者向け住宅の整備

高齢者の生きがい就労を実現させるために・・・

- ① 休耕地農業，ミニ野菜工場，屋上農園
- ② 保育サービスの向上、子育て支援センターの創設、子供の居場所の確保
- ③ 生活支援サービス
- ④ コミュニティ食堂及び配食サービスの実施といった地域の食を支えるサービス

情報共有システムの構築

機関やサービス種別を越えた情報共有のシステムを構築し在宅医療・ケアに関わる多職種チーム形成を容易にする

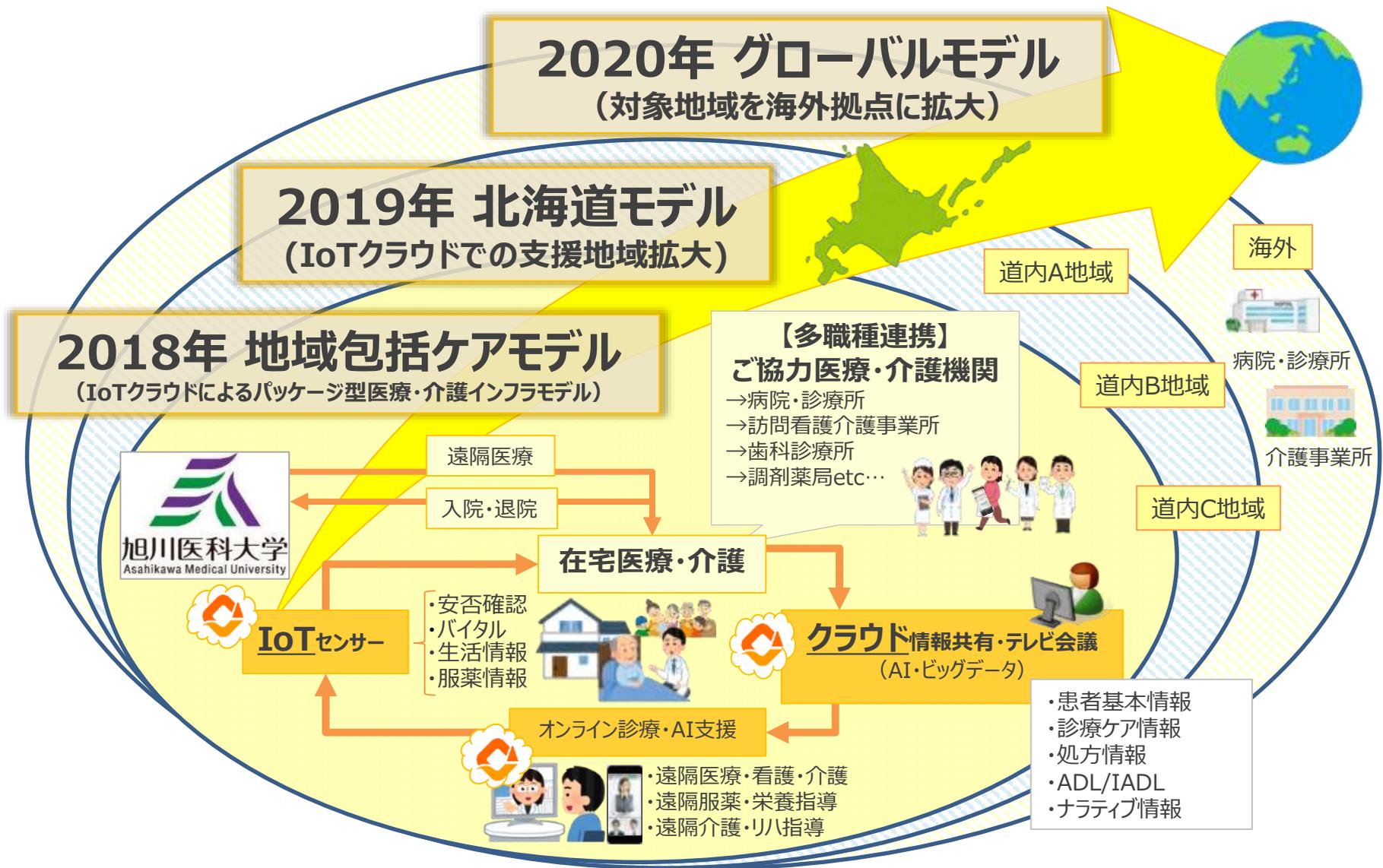


フェイスシートは、千葉県地域生活連携シート等に準拠

出典：柏市豊四季台地域高齢社会総合研究会「長寿社会のまちづくり」

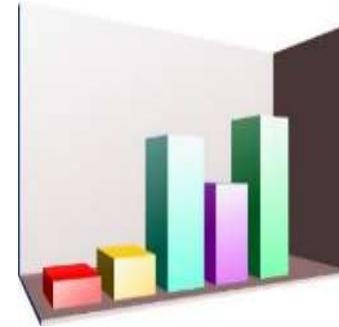
4-3. 旭川医科大学との共同研究（地方型モデル）

国立大学法人 旭川医科大学に共同研究講座設置し「IoT クラウド利用のグローバルモデル構築」を目指します。当社は、本研究に必要な遠隔医療・看護支援等に関する、新たな情報共有項目や支援システムに関する研究開発の役割等を担います。



4-4.ビッグデータ・IoT

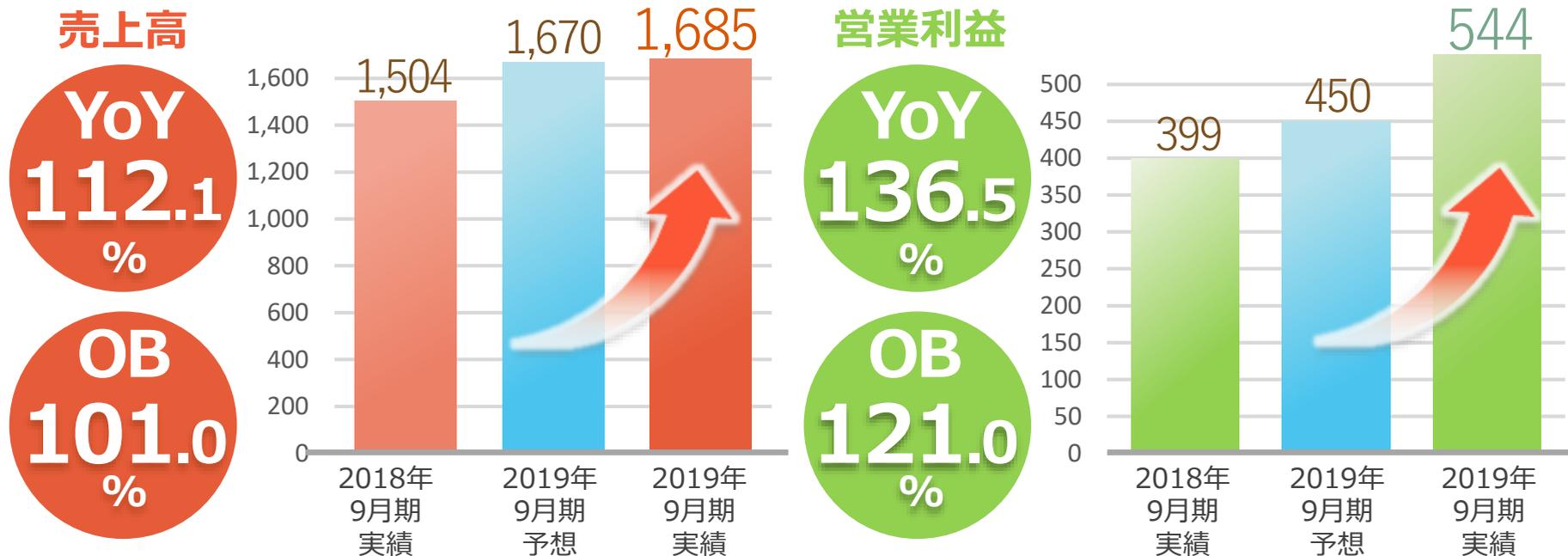
地域連携・業務のビッグデータから各種分析を行い、データを活用し優良な医療介護サービスを支えるAI化を目指します。



5.業績と成長戦略



5-1.2019年9月期 実績



(単位：百万円)

	前年同期	2019年9月期		差異		
	実績金額	予想金額	実績金額	構成比(%)	前年比(%)	達成率(%)
売上高	1,504	1,670	1,685	100.0	112.1	101.0
営業利益	399	450	544	32.3	136.5	121.0
経常利益	380	440	543	32.2	142.7	123.5
当期純利益	256	290	357	21.2	139.4	123.4

1株当たり当期純利益	6.03	7.44
-------------------	------	-------------

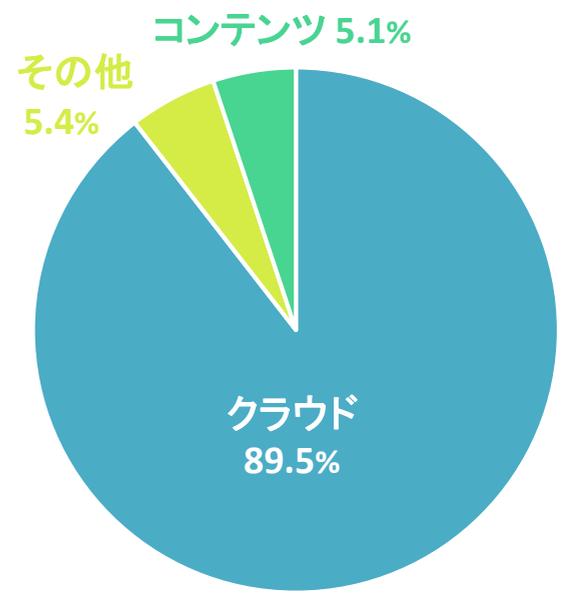
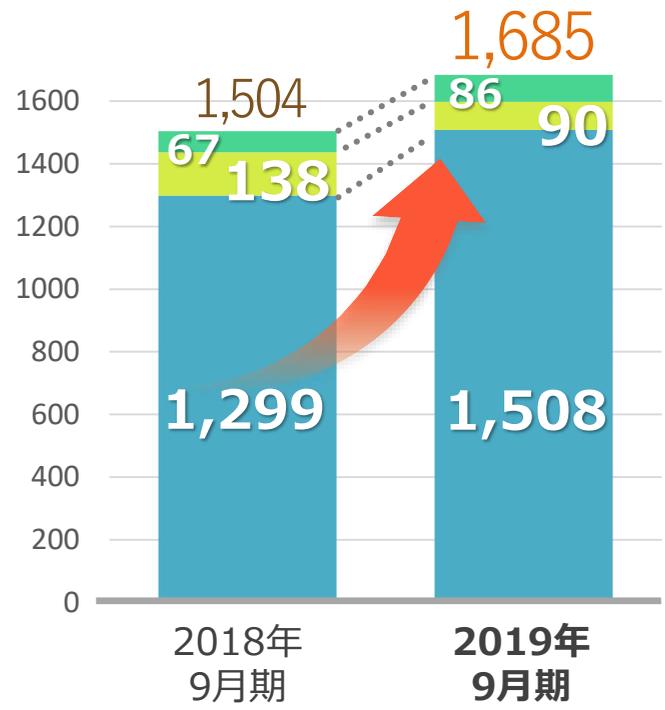
(単位：円)
 ※2019年9月1日に1株を3株に株式分割しており、1株当たり当期純利益は、株式分割が期首に行われたと仮定して算定しております。

5-2.2019年9月期 実績 サービス別

クラウド
YoY
116.1
%

コンテンツ
YoY
129.5
%

その他
YoY
65.8
%

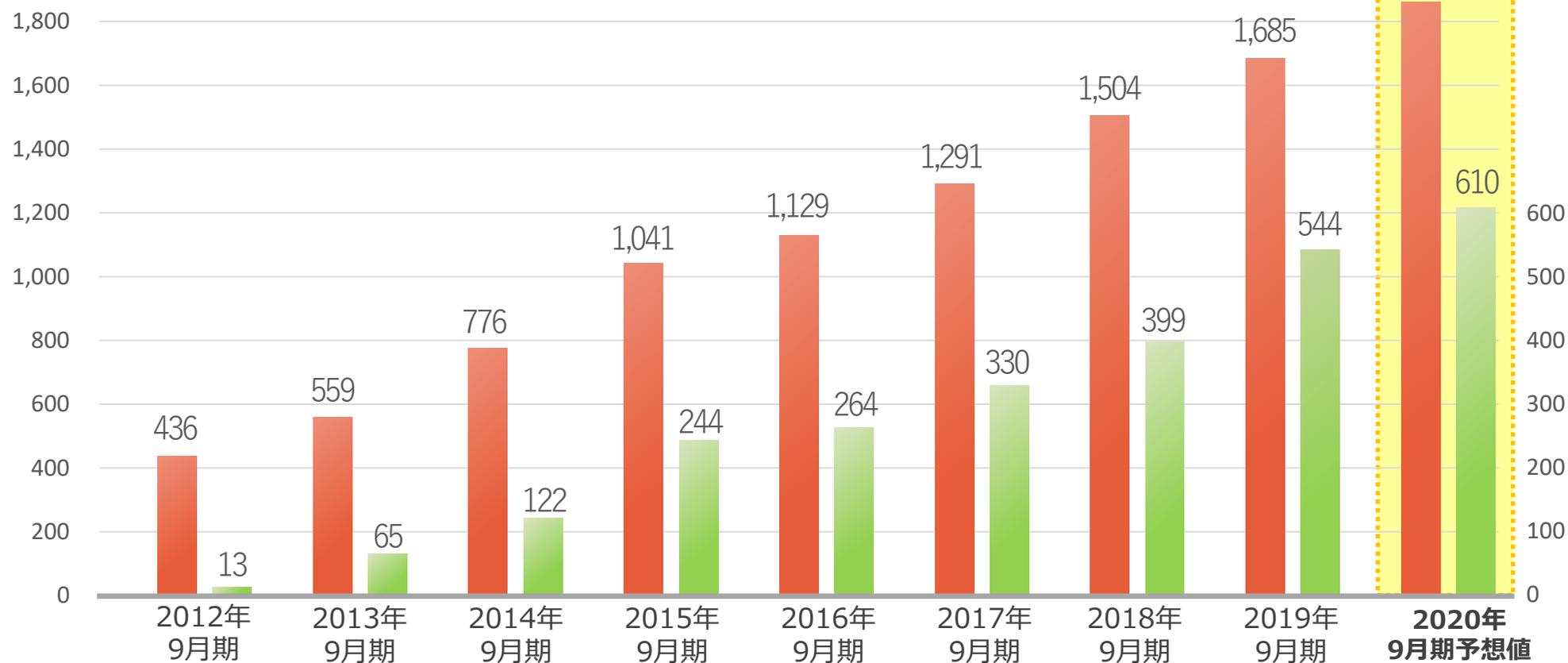


(単位：百万円)

	2018年9月期 実績		2019年9月期 実績		対前年差異	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)	金額	前年比(%)
クラウド	1,299	86.3	1,508	89.5	209	116.1
その他	138	9.2	90	5.4	-47	65.8
コンテンツ	67	4.5	86	5.1	19	129.5
合計	1,504	100.0	1,685	100.0	181	112.1

5-3.2020年9月期 予想

■ 売上高 ■ 営業利益



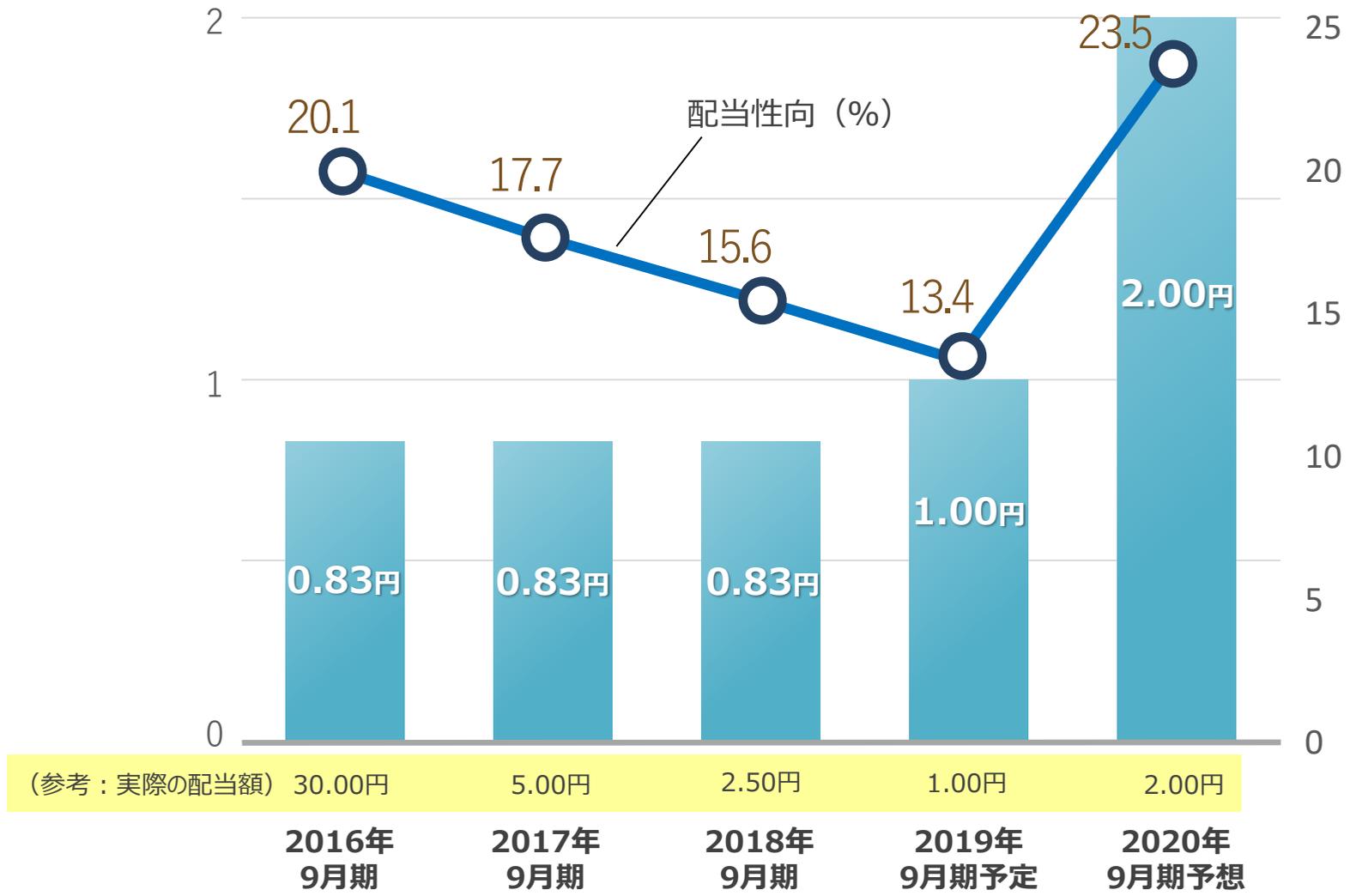
	2019年9月期実績	2020年9月期予想	対予想差異	
	金額	金額	差異	前期比 (%)
売上高	1,685	1,860	+174	110.3
営業利益	544	610	+ 65	112.0
経常利益	543	630	+ 86	116.0
当期純利益	357	410	+ 52	114.6

(単位：百万円)

5-4. 配当推移

2020年9月期より、配当性向は20%以上を基準といたします。

■ 配当額 (分割考慮後)



5-5.成長戦略 –プラットフォーム化– (再掲)

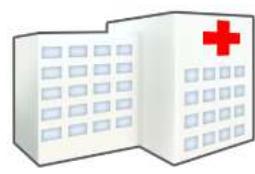
フィンテック
Tポイント等
各種決済
ファクタリング
等

システム(AI,IoT,etc..)
ケアプラン × AI
遠隔医療 × IoT
多言語化
業務基幹システム

シェアリングエコノミー
スタッフ人材
介護施設
介護用品車両

その他
インターネット購買
公的資金制度

 **カナミック
クラウドサービス**



病院



介護施設



在宅介護



患者・要介護者



医師



自治体



看護師・介護士

企業

医療・介護サービス 提供・受給者

カナミックユーザー

5-6.成長戦略 –プラットフォームIoT連携–

見守り支援システム



PARAMOUNT BED

人感見守りセンサー



NISEHA

エアコンみまもりサービス



Panasonic

ワイヤレスコールシステム



ジーコム株式会社
株式会社レオン

ビーコンみまもり

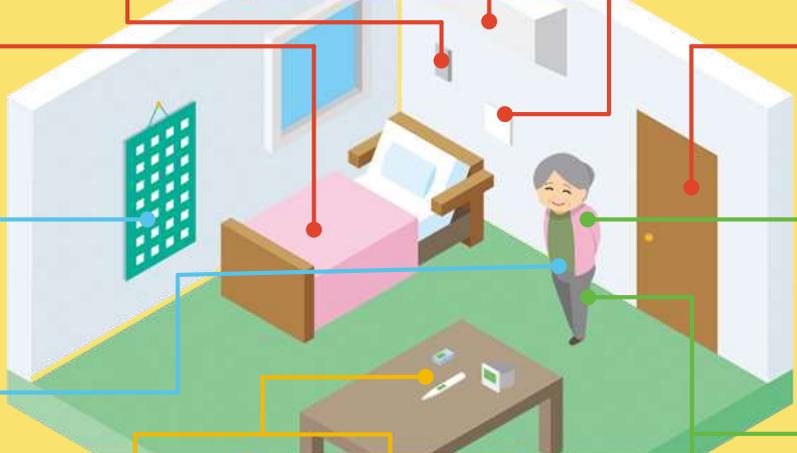


NAKAYO

服薬管理カレンダー



DNP 大日本印刷



ウェア型バイタルセンサー



MITSUFUJI

排泄予知ウェアラブル



D free トリプルダブリュージャパン株式会社

血圧計・体温計・オキシメータ



NISSEI 日本精密測器株式会社

血圧計・体温計・オキシメータ



TERUMO

生活習慣改善支援サービス



京セラ株式会社

ウェアラブル活動量デバイス



日本予防医学協会

睡眠・みまもり

睡眠の時間や質、目覚め気分、離床、室内温度、湿度、照度、在室有無等を検知

食事・服薬・排泄

排泄(便・尿)に関する時刻や回数、また食事の摂取量やカロリー、食事時間、水分補給、服薬の有無を検知

バイタル

体温、血圧、脈拍、血中酸素飽和度等を測定し、記録へ連動

活動量

移動の方法、時間、頻度、消費カロリー、内臓脂肪等を検知



自動連動で便利
情報共有が簡単
効率UPで時間短縮

— 実証フィールド —

株式会社 礎  株式会社「リエイ」 

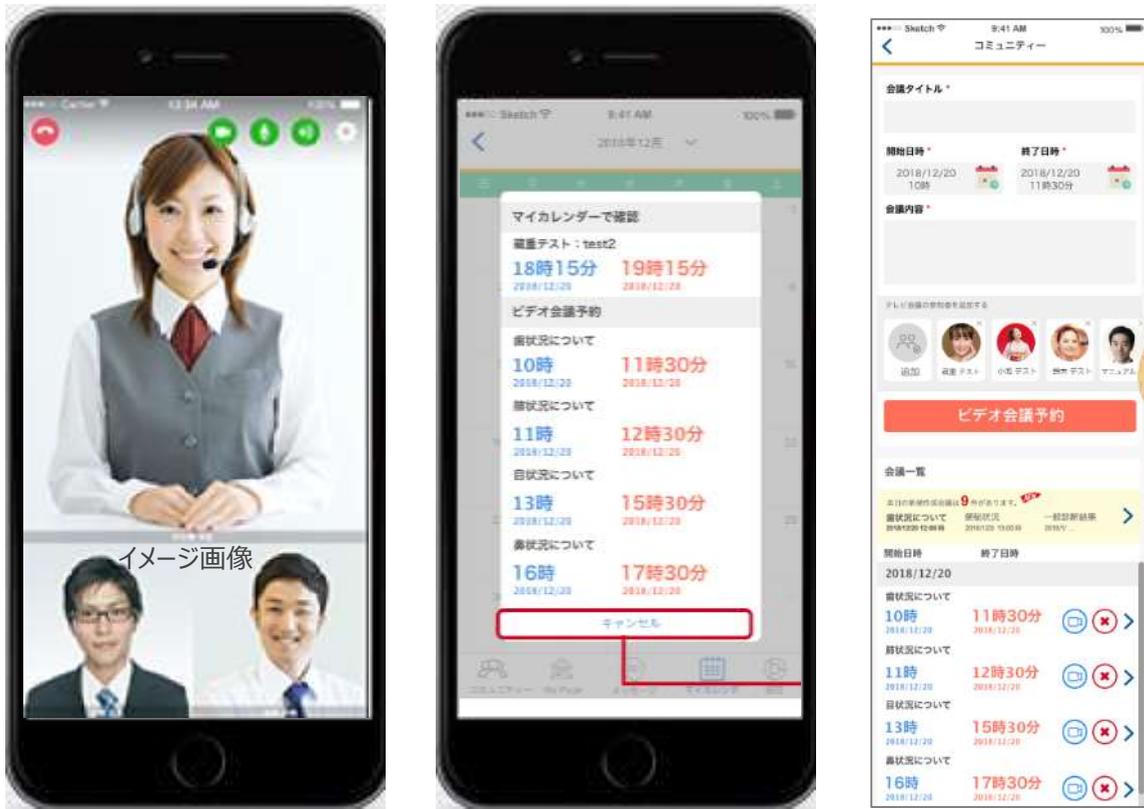
学研  Cocolump  介護の長谷川  イリーゼ 

ZENKOUKAI  株式会社 エスケアメイト 

 総務省 平成28年度補正事業
「IoTサービス創出支援事業」
におけるカナミックの取り組み

5-7.成長戦略 –テレビ会議システム–

平成30年度介護報酬改定にて
「ICTを活用したリハビリテーション会議への参加」
リハビリテーション会議への医師の参加について、テレビ電話等を活用が推奨された

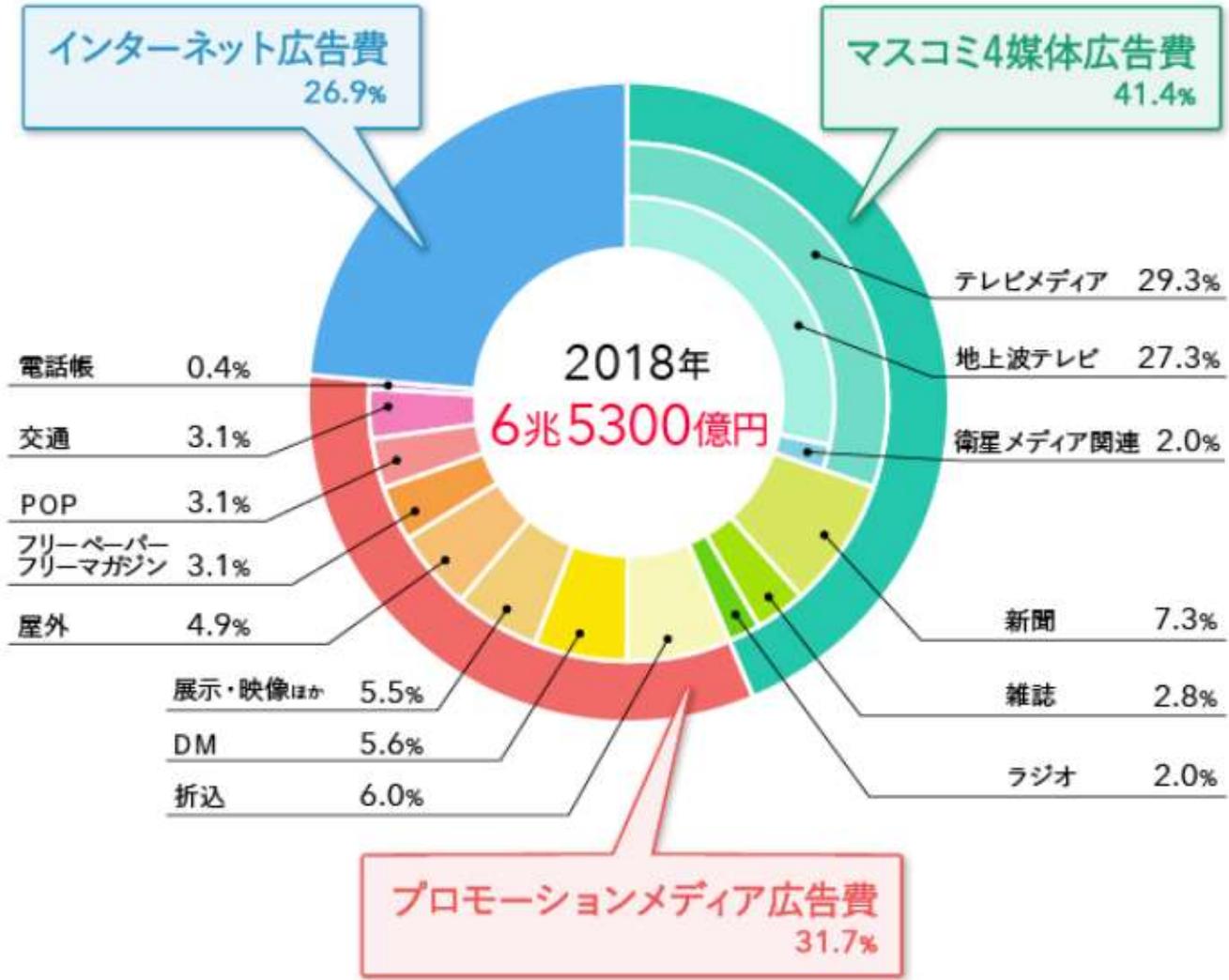


テレビ会議機能で、よりリアルな多職種連携、遠隔診療やICTを活用した会議にも活用

出典：社保審－介護給付費分科会「平成30年度介護報酬改定の主な事項について」

5-8.成長戦略 –コンテンツ–

日本の広告費 媒体別構成比



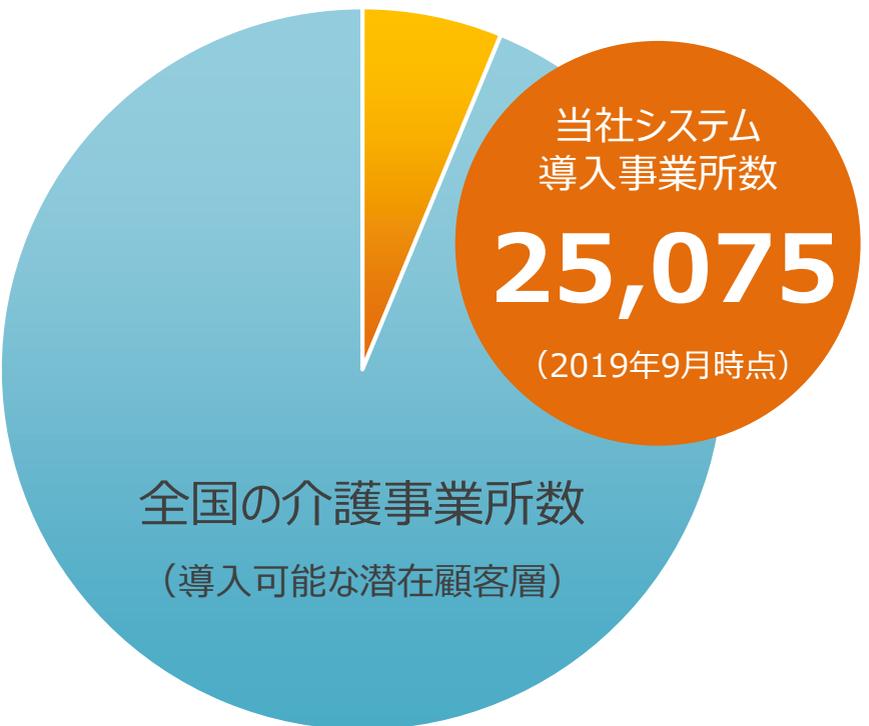
出典：株式会社電通「2018年 日本の広告費」

2014年以来2桁成長を続けるインターネット広告の構成比は年々高まり、2018年には総広告費の1/4を超える規模となった。

5-9.成長余地

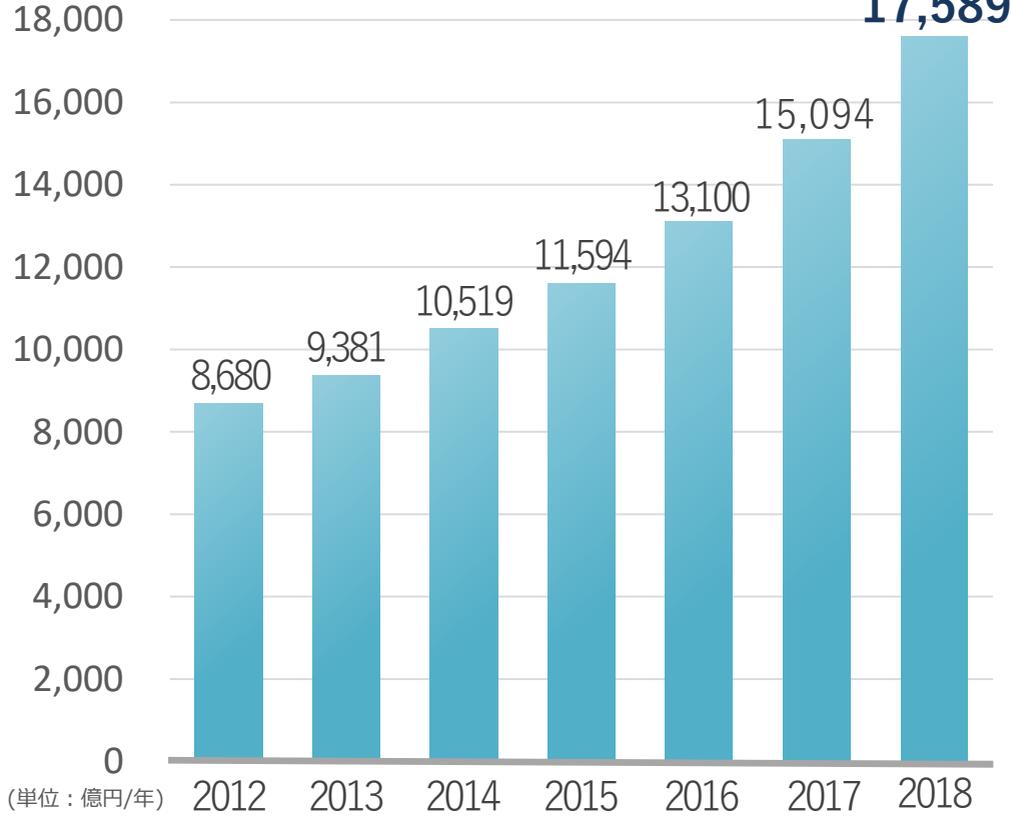
各事業領域に大きな成長余地

業務システムの成長余地イメージ



当社の導入先は全国の介護事業所の約6%です。

インターネット広告費推移

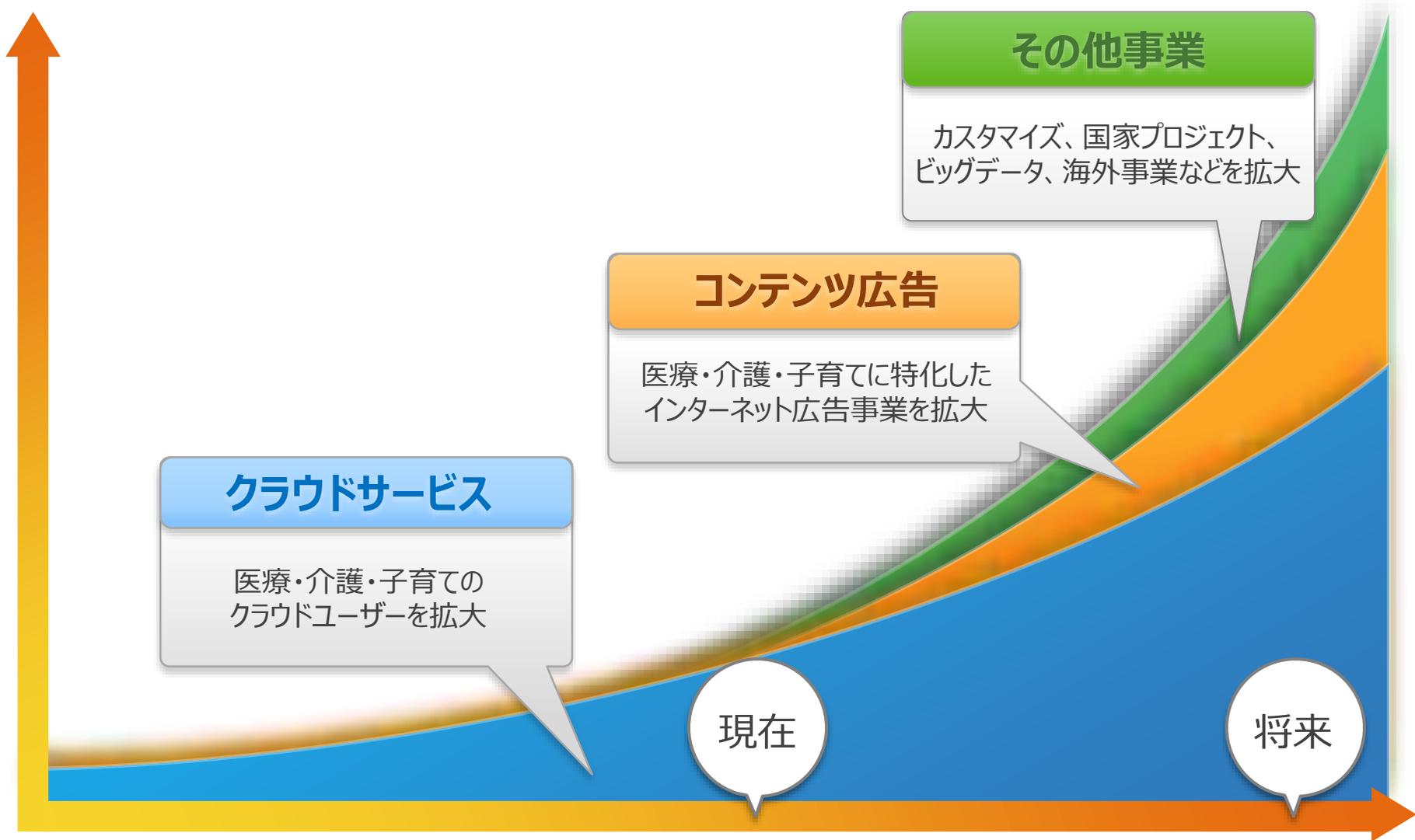


出典：株式会社電通「2018年 日本の広告費」

企業がインターネット広告に
かける費用は年々増加傾向です。

5-10.成長のイメージ (売上構成の変化)

カナミッククラウドサービスの各種サービスが相乗効果を出しながら成長

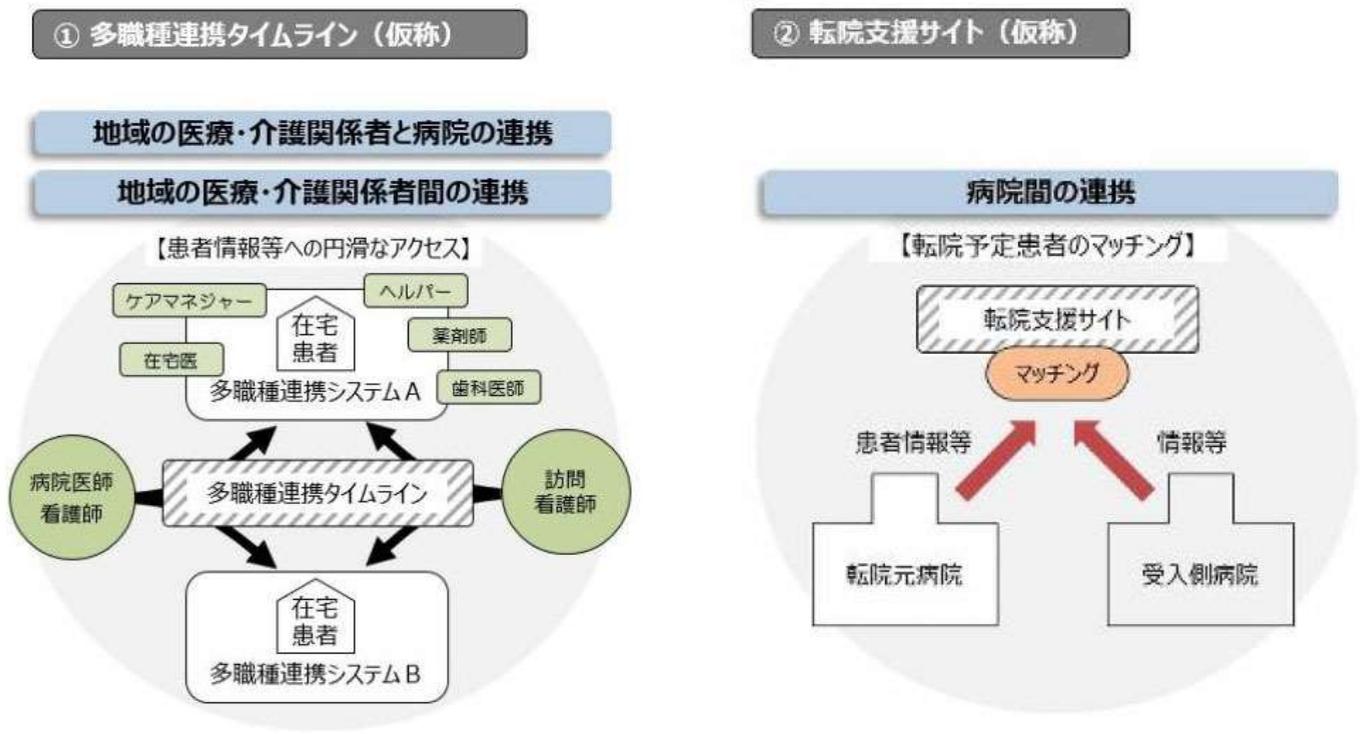


6.事業TOPICS

6-1. 「東京都多職種連携ポータルサイト設計・開発業務委託」受託

2019年10月28日発表

当社は、東京都が実施する「東京都多職種連携ポータルサイト設計・開発業務委託」に係る事業を受託しました。



「カナミッククラウドサービス」で培った医療・介護連携のノウハウを「東京都多職種連携ポータルサイト（仮称）」に反映させることにより、東京都内全域での医療・介護連携の推進に、より一層寄与してまいります。

6-2. 「地域 IoT 実装推進事業」に係る採択候補に決定

2019年7月11日発表

当社は、総務省が実施する
「地域 IoT 実装推進事業」に係る採択候補に決定されました。

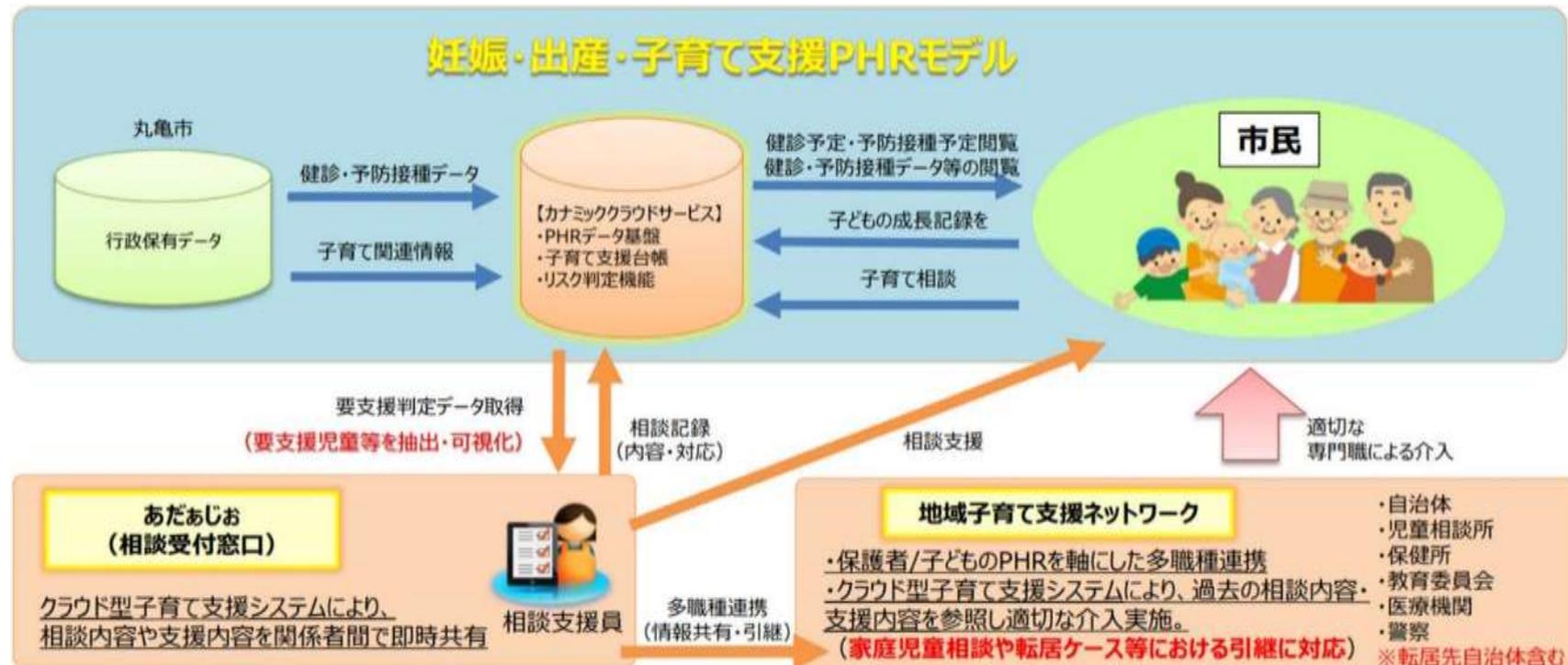


図. 当事業の実施イメージ

総務省が実施する「地域 IoT 実装推進事業」の一環として、行政保有データを活用した要支援児童等への適切な介入ならびに市民と行政とのコミュニケーションの活性化を図り、安全で安心な子育て環境をICTを活用したPHRモデルで展開する事業となります。

6-3. 広島および沖縄営業所を開設

2019年6月11日発表

業容拡大に伴い新たに広島および沖縄営業所の2拠点を開設
地域に密着した営業体制構築を目指します



営業所を新設することで、地域により密着した営業体制を構築し、自治体、介護事業所など既存のお客様へのサポートの一層の充実と関係強化を図るとともに、当社のサービスの普及拡大に取り組んでまいります。

6-4.介護施設向け IoT 連携システム

2019年5月27日発表

介護施設現場の業務負担を改善する仕組みを共同開発

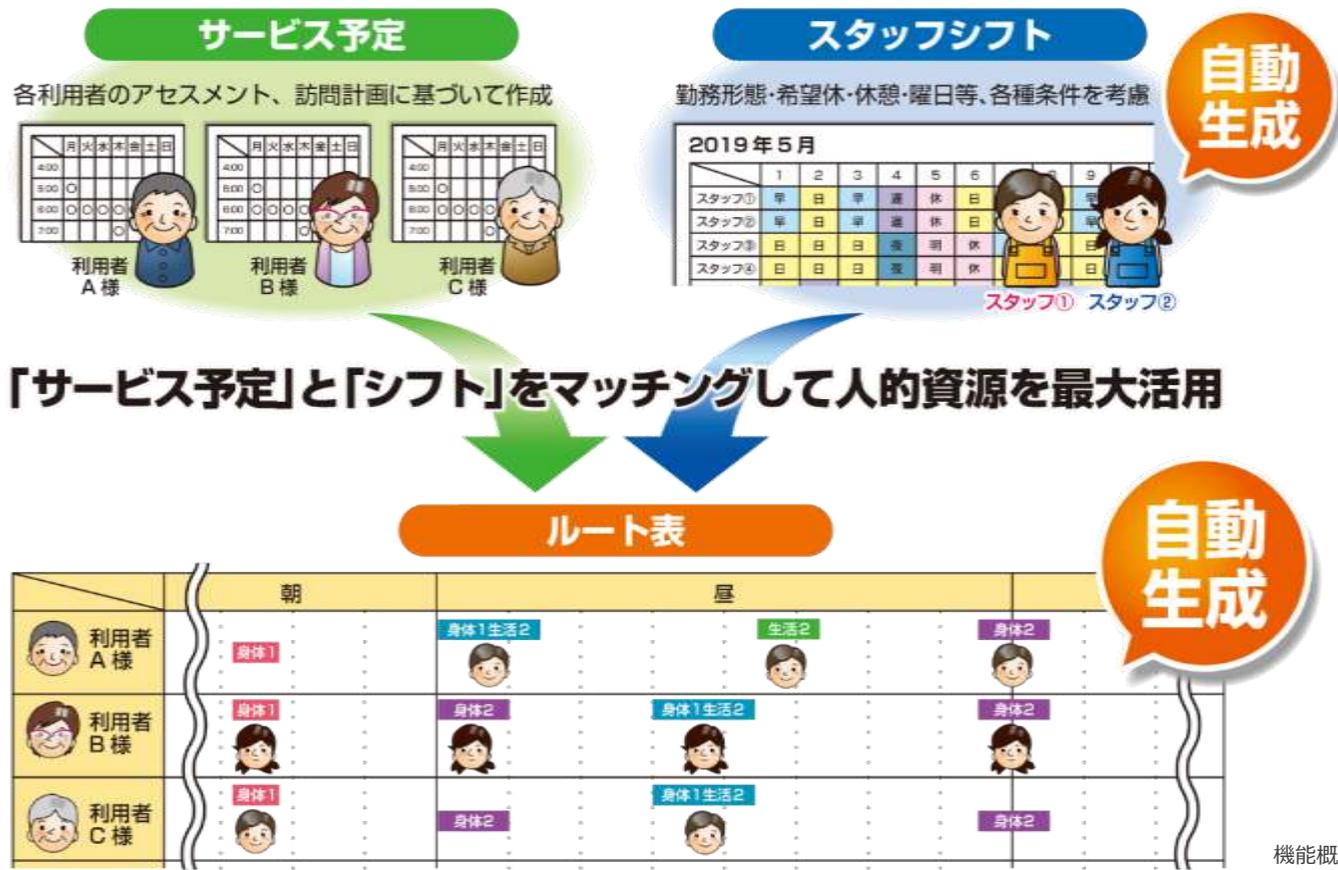


当社と平和テクノシステムは、入居者情報等の管理や介護記録、請求業務、ナースコール対応や見守りセンサー等から異常を検知した際の対応と、これまで分断された環境によって生じていた業務の負担を大幅に改善するIoT 連携システムを共同開発しました。

6-5. 有料老人ホーム用シフトルート管理システム

2019年4月19日発表

介護の人的資源を最大限効率化する機能を共同開発、販売開始

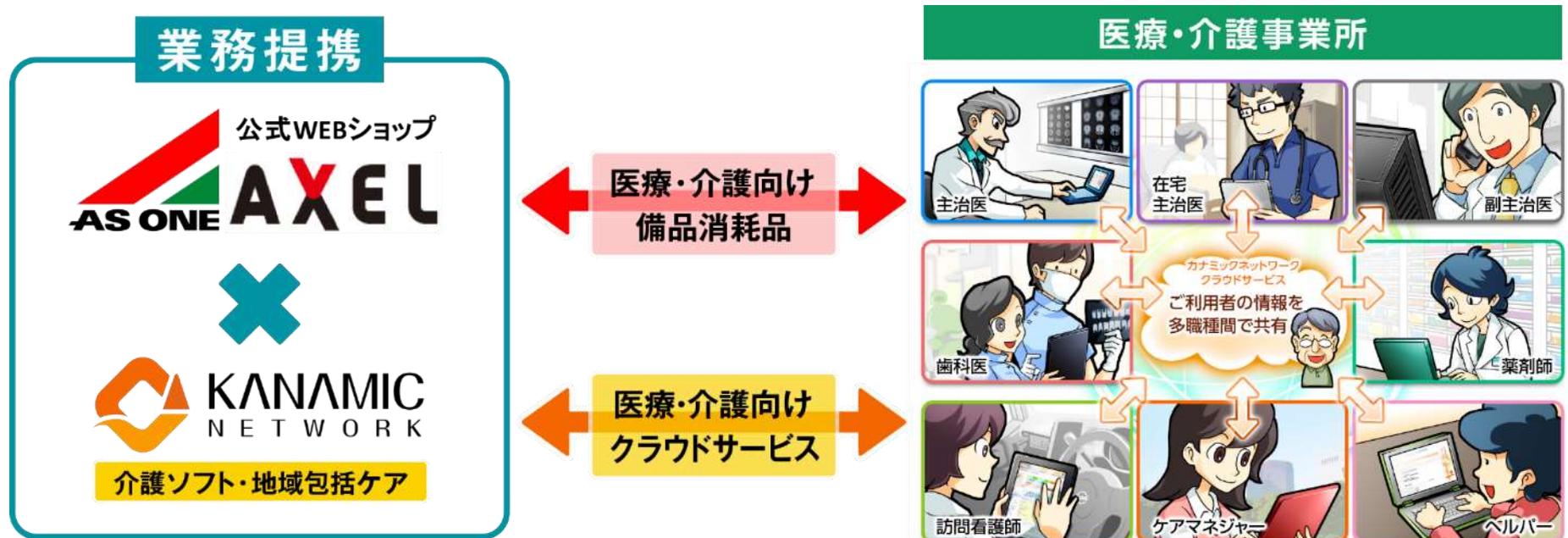


当社と大手介護事業者HITOWAケアサービスは、サ高住、住宅型有料老人ホーム、居宅介護支援事業所、訪問介護事業所を併設している拠点で、勤務シフト機能からご入居者様のニーズを最大限活かしつつルート表を自動作成し、効率的にヘルパーをアサインする機能を共同開発し、販売を開始しました。

6-6. 医療・介護事業所向け物販サービス開始

2019年3月26日発表

「カナミッククラウドサービス」を通じて、
総合 WEB ショップ「AXEL」をご利用いただけます



医療・介護事業用品や事務用品、消耗品等を特別価格で提供し、購買業務における利便性を高めると共に価格面でも魅力を感じて頂けるサービスを提供します。

6-7. 経営支援のためのソリューションサービス開始

2018年12月25日発表

最適な公的支援制度を選定し、申請パッケージを提供



当社の「カナミッククラウドサービス」とライトアップが提供する人材採用、従業員教育研修、生産性向上等の業務支援パッケージ、および公的資金活用の支援サービス「Jマッチ・Jエンジン」を活用する事で経営支援の為のソリューションサービスを提供致します。

6-8. 海外子会社設立で開発リソース強化

2018年12月25日発表

中華人民共和国 遼寧省大連市に
海外子会社（当社100%出資）を設立いたしました



同子会社が入居する大連市アセンダスITパークの様子



本設立に伴い、当社におけるソフトウェア開発のリソース強化および開発コスト削減が図られることから、今後の介護保険法改正対応や新たな機能の追加など更なるサービス品質の向上に取り組んでまいります。

6-9.株主優待

当社株式への投資魅力を高め、
当社株式をより多くの方に保有していただくことを目的として
抽選式の株主優待制度を導入いたしました。

優待①

毎年9月30日現在の株主名簿に
記載された100株以上を保有
の株主様

抽選で**10**名様に
20万円相当の旅行券贈呈

優待②

直近の期末株主名簿から100株以上
を1年以上継続して保有(期末・中間株主名
簿に同一の株主番号で連続3回以上記載)の株主様

抽選で**3**名様に
20万円相当の旅行券贈呈

W
チャンス

抽選につきましては、定時株主総会終了後に実施する抽選会において、当社の株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行立合いのもと、厳正な抽選を行います。また、抽選の結果は当選された株主様の株主番号等を当社ホームページにてお知らせいたします。贈呈時期は毎年1月中旬頃の発送を予定しております。

※株主番号は全株を売却された後に新たに購入された場合は、新しい株主番号に変わりますのでご注意願います。

※次年度は、2019年9月30日時点の株主名簿に記載または記録され100株以上保有の株主様より実施いたします。なお②は、2019年9月30日、2020年3月31日、及び2020年9月30日の全ての基準日における株主名簿に同一株主番号で記録または記載された株主様が対象となります。

本説明において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements) を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。